

アーキラインシェルター AR-F 型

片支持仕様

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

- 警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
- 注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

- お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- 補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「各ページの右上」または「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

! 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
※給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。
熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。



💡 お願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- AC100V電線の埋設工事、配線作業については電気工事店の有資格者に依頼してください。

基礎工事について

注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱の付け根部に水抜き穴をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

施工上のご注意

注意

- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、
ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、
当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後、ゆるみがないか確認してください。
製品の強度低下、またはケガの原因になります。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

※φ4ネジ : 2.5N・m±0.5N・m
※M6ボルト : 12.0N・m±0.5N・m

※φ5ネジ : 3.0N・m±0.5N・m
※M8ボルト : 20.0N・m±0.5N・m

お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

電気配線工事について

警告

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
取付けに不備があると、火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。
- 本製品には、AC100V用の電源ケーブルが必要です。
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

施工の後に

注意

- ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

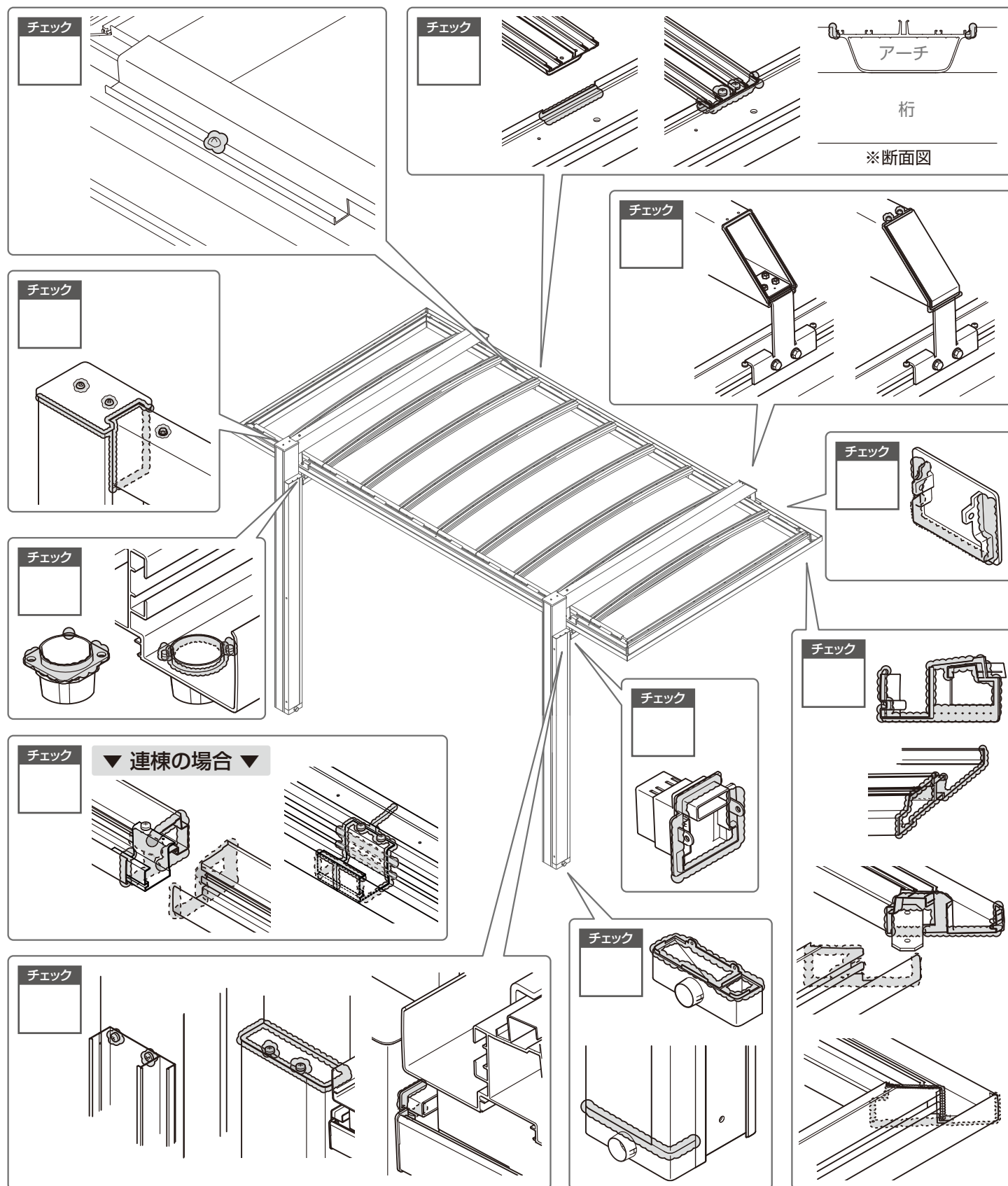
シーリングチェックリスト

 お願い

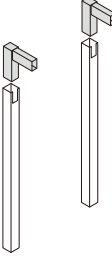
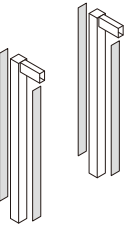
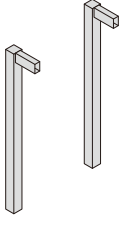
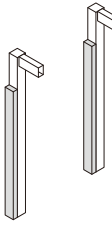
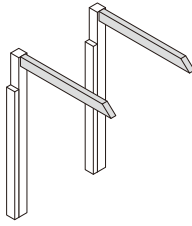
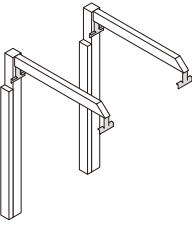
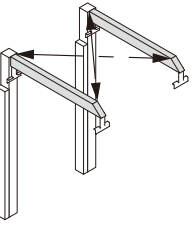
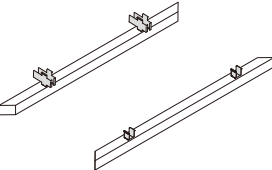
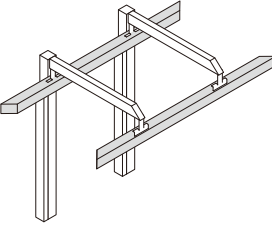
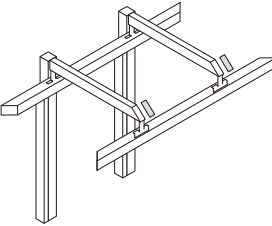
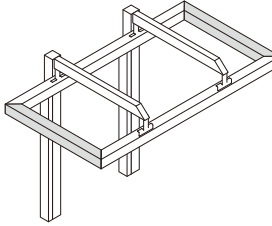
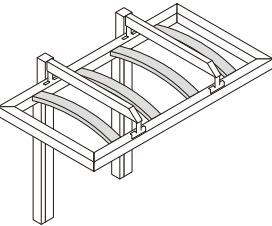
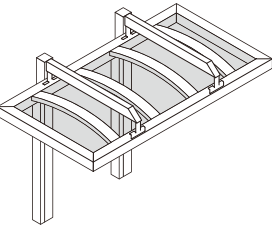
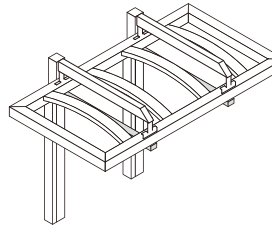
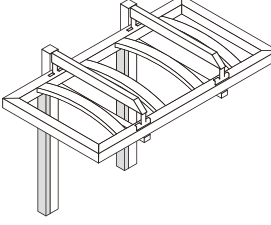
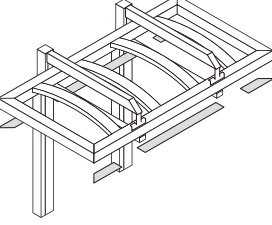
- シーリングが完了した箇所は、☐にチェックを入れてシーリング漏れがないようにしてください。雨漏れの原因になります。

 補足

- 不要な箇所にシーリングがつかないようにマスキングしてください。
- シーリングは多めに塗布して、はみ出た部分はヘラで押えてください。
- 「アルコール系」と「脱アルコール系」はいずれも「硬化の際、アルコールを揮散しながら硬化するシリコン」を示します。



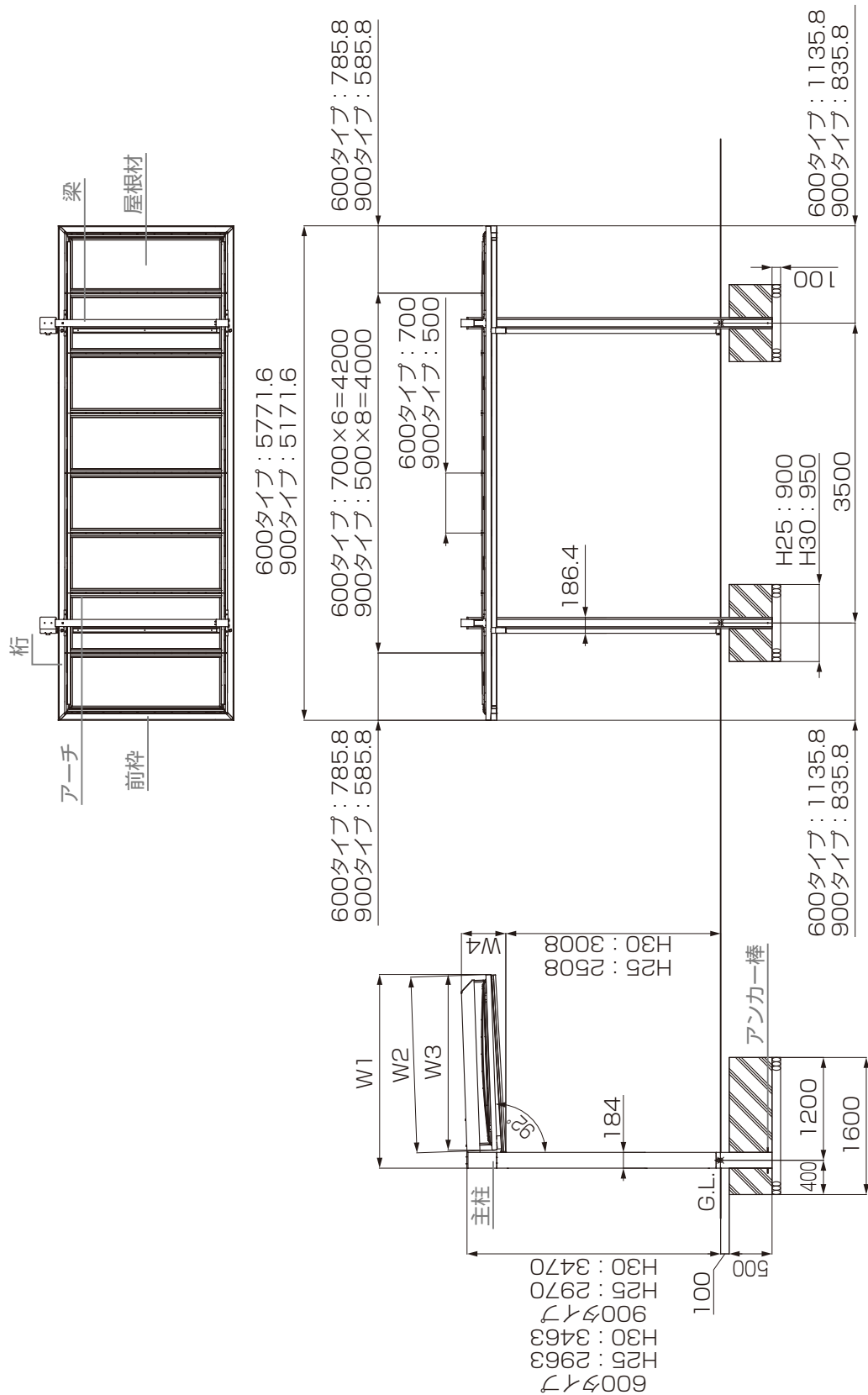
施工手順

3-1 主柱の組立て	3-2 主柱カバー	3-3 柱の建て込み	サイドパネルを取付ける場合
			「アーキラインシェルター AR-F 型 サイドパネル取付説明書(E462)」 をご確認ください。
3-4 縦樋	3-5 梁	3-6 吊金具	3-7 梁の対角
			
3-8 渡し樋吊金具	3-9 桁	3-11 梁端部キャップ	3-12 前枠
			
照明を取付ける場合	3-13 中間アーチ	3-14 屋根材	3-15 渡し樋
4 直接照明の取付け 5 間接照明の取付け をご確認ください。			
3-16 縦樋カバー	3-19 桁カバー		
			

1 基本寸法と各部名称

1-1 基本寸法

1-1-1 単体

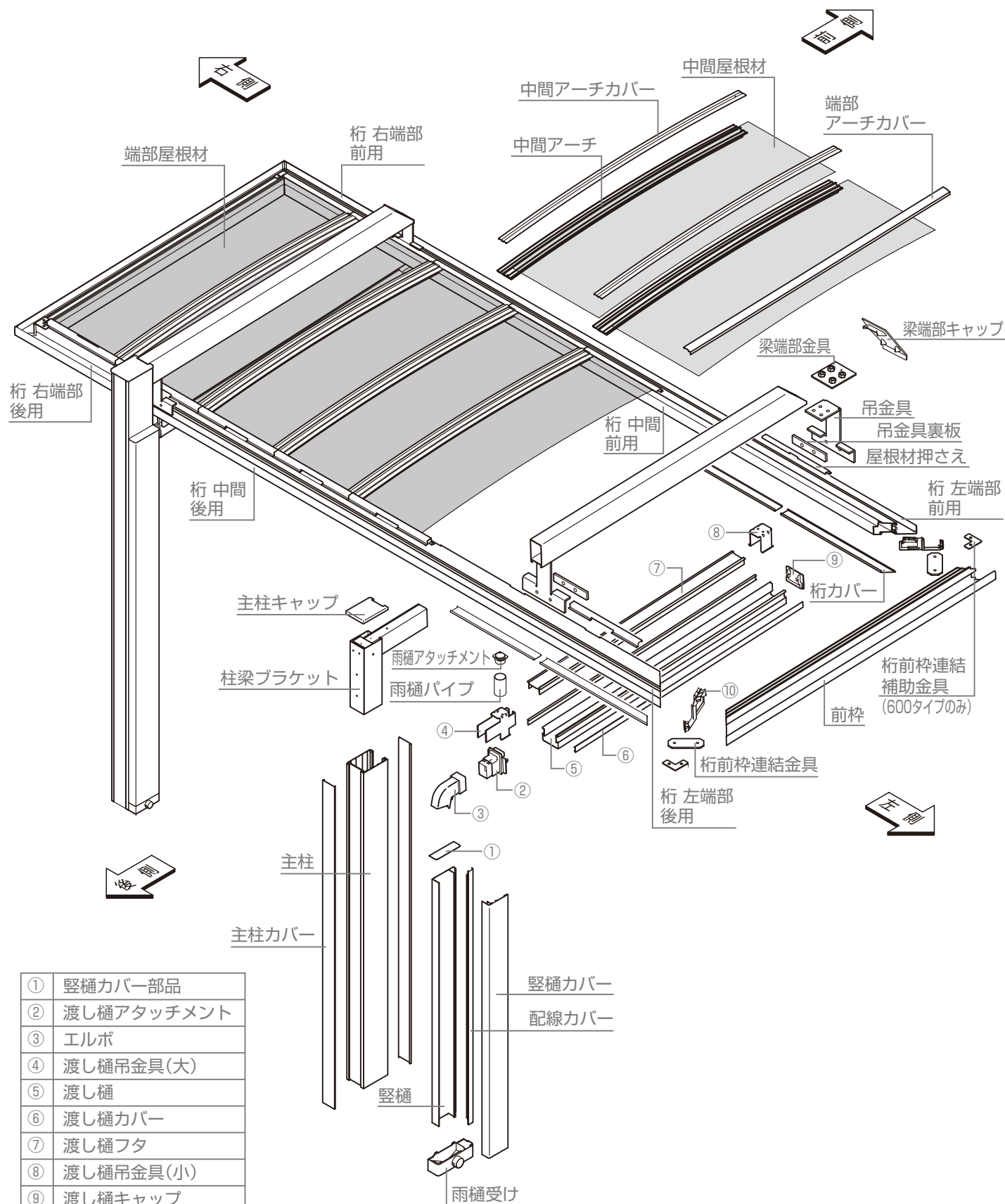


●寸法表

	600タイプ				900タイプ			
	W1	W2	W3	W4	W1	W2	W3	W4
W20	2261.1	2051.6	2050.9	517.6	2261.1	2051.6	2050.9	524.5
W25	2760.8	2551.6	2550.6	535	2760.8	2551.6	2550.6	541.9

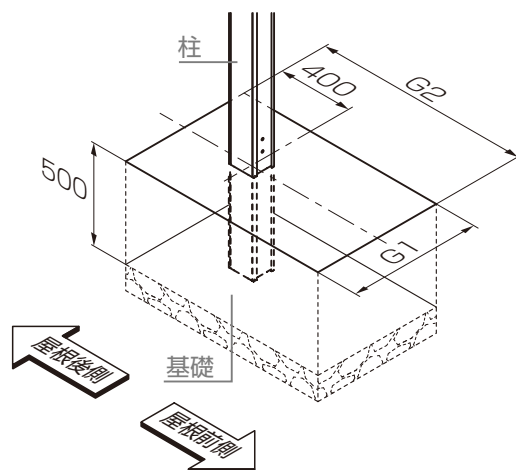
1 基本寸法と各部名称

1-2 各部名称



2 柱の位置だし

1: 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘る



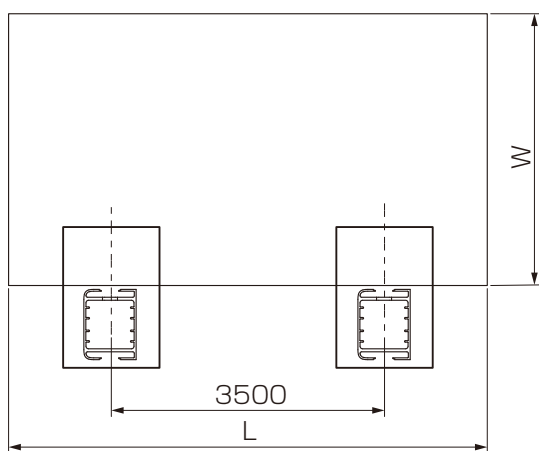
●基礎寸法

	サイドパネルなし		サイドパネルあり	
	G1	G2	G1	G2
H25	900	1600	900	2000
H30	950	1600	950	2100

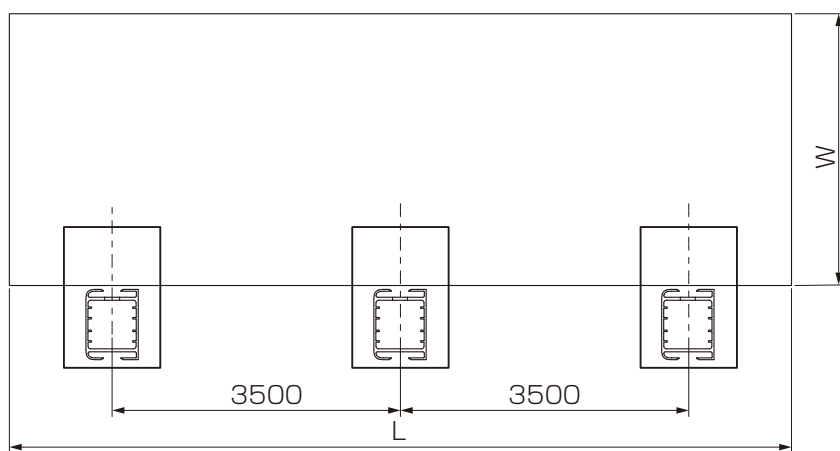
●寸法表

	600タイプ						900タイプ					
	単体				3連棟		単体				3連棟	
	57型		92型				57型		92型			
	W	L	W	L			W	L	W	L		
W20	2050.9	5771.6	2050.9	9271.6	2050.9	12771.6	2050.9	5171.6	2050.9	8671.6	2050.9	12171.6
W25	2550.6	5771.6	2550.6	9271.6	2550.6	12771.6	2550.6	5171.6	2550.6	8671.6	2550.6	12171.6

▼ 単体の場合 ▼

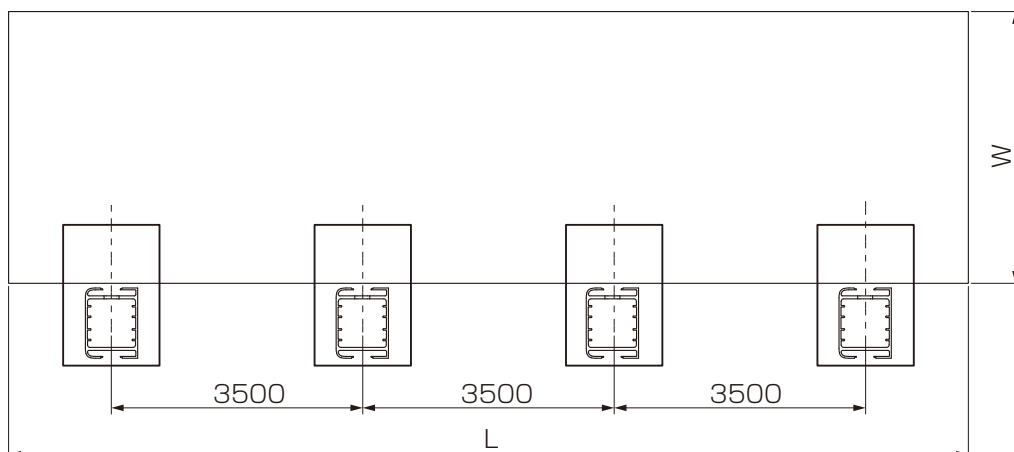


【57型】



【92型】

▼ 三連棟の場合 ▼



3 本体の施工

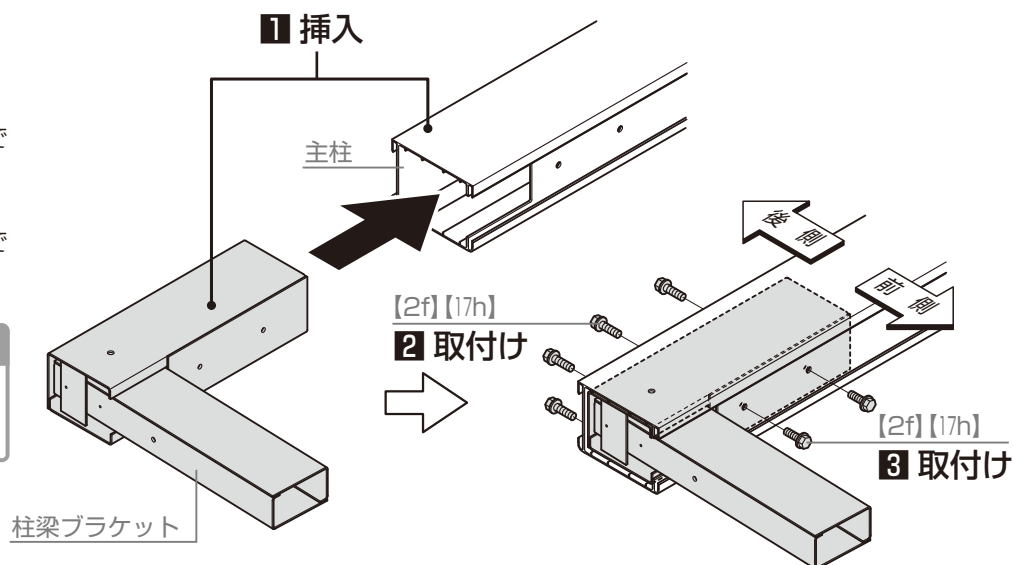
[2f]	M8×30六角ボルト(PW・緩み止め付)
[17h]	M8×30六角ボルト(PW・緩み止め付)

3-1 主柱の組立て

- 1: 柱梁ブラケットを主柱に挿入する
- 2: 柱梁ブラケットを主柱に[2f][17h]で後側から取付け
- 3: 柱梁ブラケットを主柱に[2f][17h]で前側から取付け

お願い

- [2f][17h]は必ず後側、前側の順で取付けてください。



3-2 主柱カバー

※サイドパネルを取付ける場合は、先に「アーキラインシェルター AR-F 型 サイドパネル取付説明書(E462)」をご確認ください。

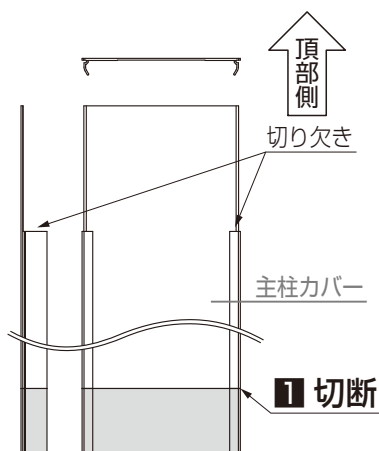
- 1: 主柱カバーをG.L.までの長さで切断

補足

- 後側：主柱頂部からG.L.まで
- 前側：600タイプ 後側－155mm
900タイプ 後側－162mm

お願い

- 主柱後側の主柱カバーは、切り欠き加工がある方を上側(主柱頂部側)にして、下側を切断・挿入をしてください。



- 2: 主柱カバーを主柱に挿入

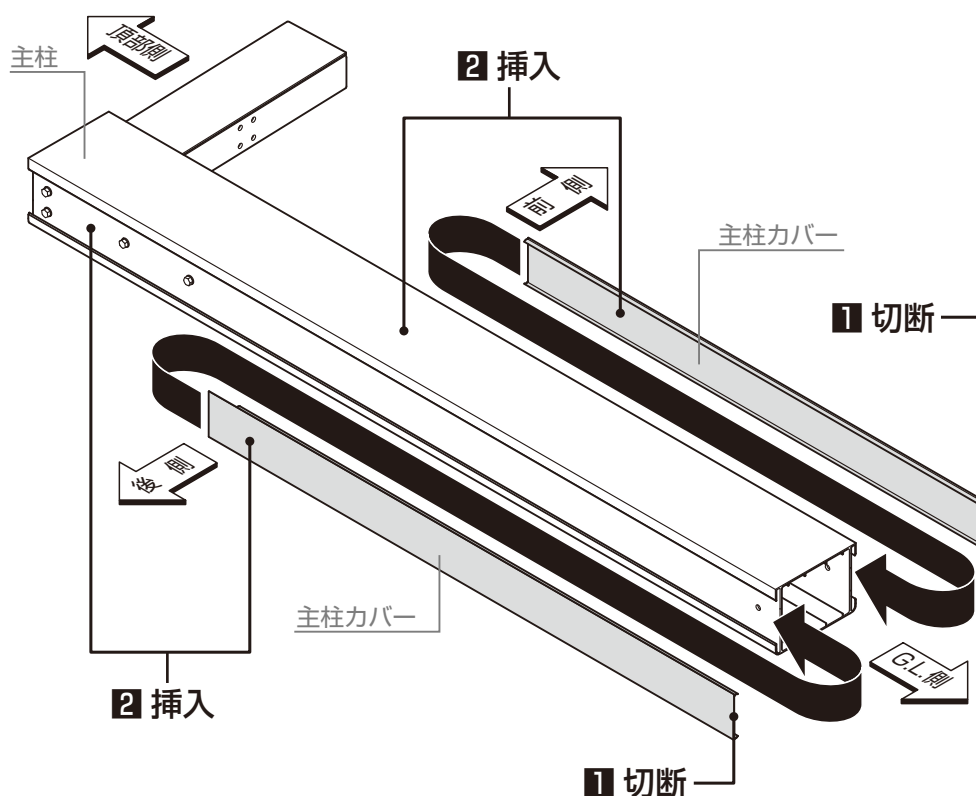
お願い

▼ サイドパネルの場合 ▼

- サイドパネル取付け位置を確認してください。

●規格切断寸法(参考)

	前側		後側	
	600タイプ	900タイプ	600タイプ	900タイプ
H25	2806	2806	2961	2968
H30	3306	3306	3461	3468



3 本体の施工

3-3 柱の建て込み

3-3-1 埋め込む場合

お願い

- 主柱の垂直を確認してください。
- コンクリートが固まるまで、柱が倒れないように添え木などをしてください。

1: アンカー棒を主柱に差込む

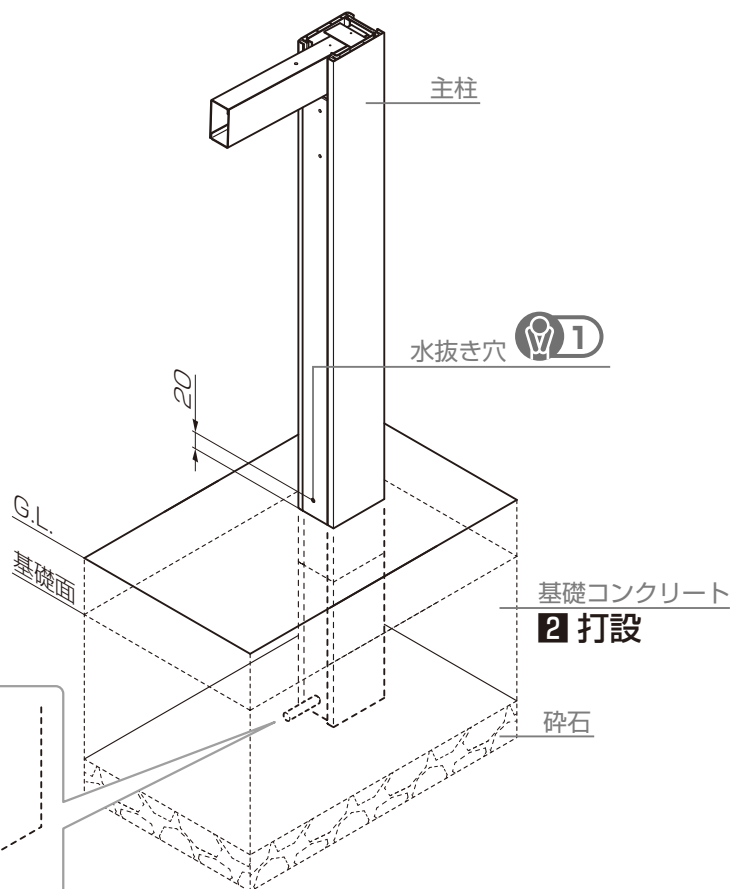
2: 基礎コンクリートを打設

お願い 1

▼ 規格外の加工を行った場合 ▼

- 主柱とカバーに、G.L.から+20mmの位置にφ10の水抜き穴を加工してください。

1 差込む



3-3-2 ベースプレートの場合 ※特注品

1: 基礎ボルトをベースプレートに差込み【M16六角ナット】【M16平座金】【M16バネ座金】で取付け

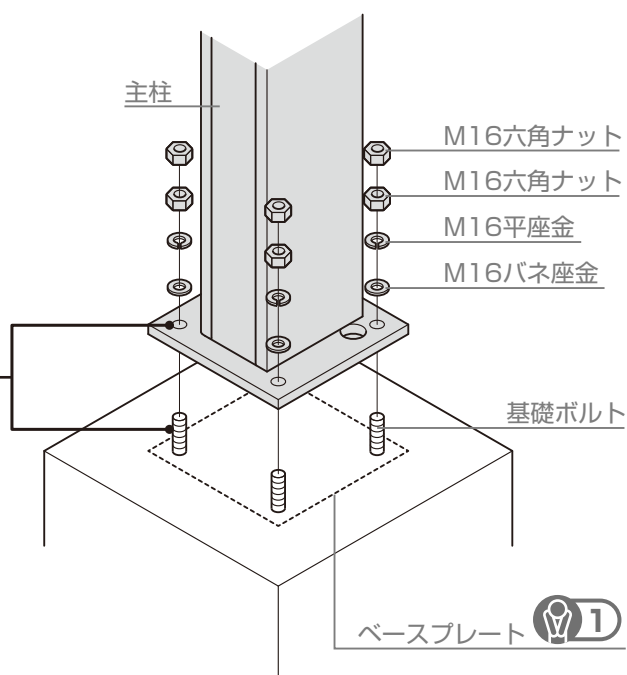
お願い 1

- アンカープレートの取付けは「アーラインシェルター AR-F 型 アンカーセット 取付説明書 (E469)」を参照してください。

お願い

- 配線の位置に注意して柱を取付けてください。

1 取付け

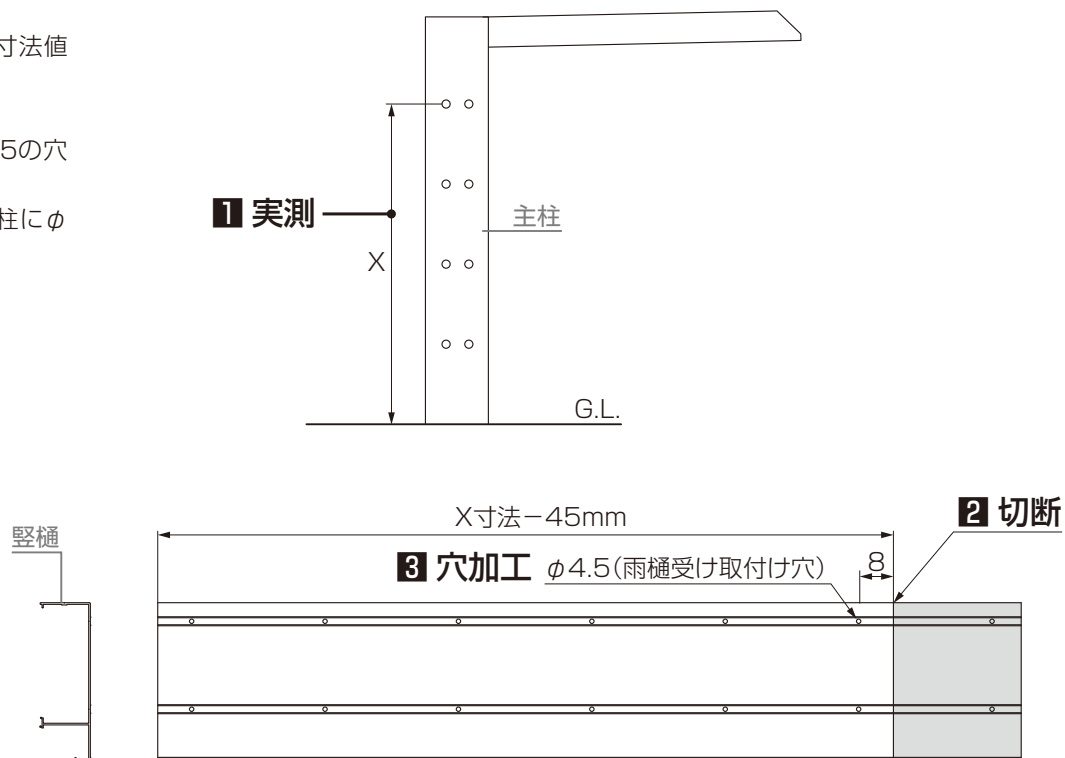


3 本体の施工

3-4 縦樋 ※サイドパネルを取付ける時は、縦樋の前に施工してください。

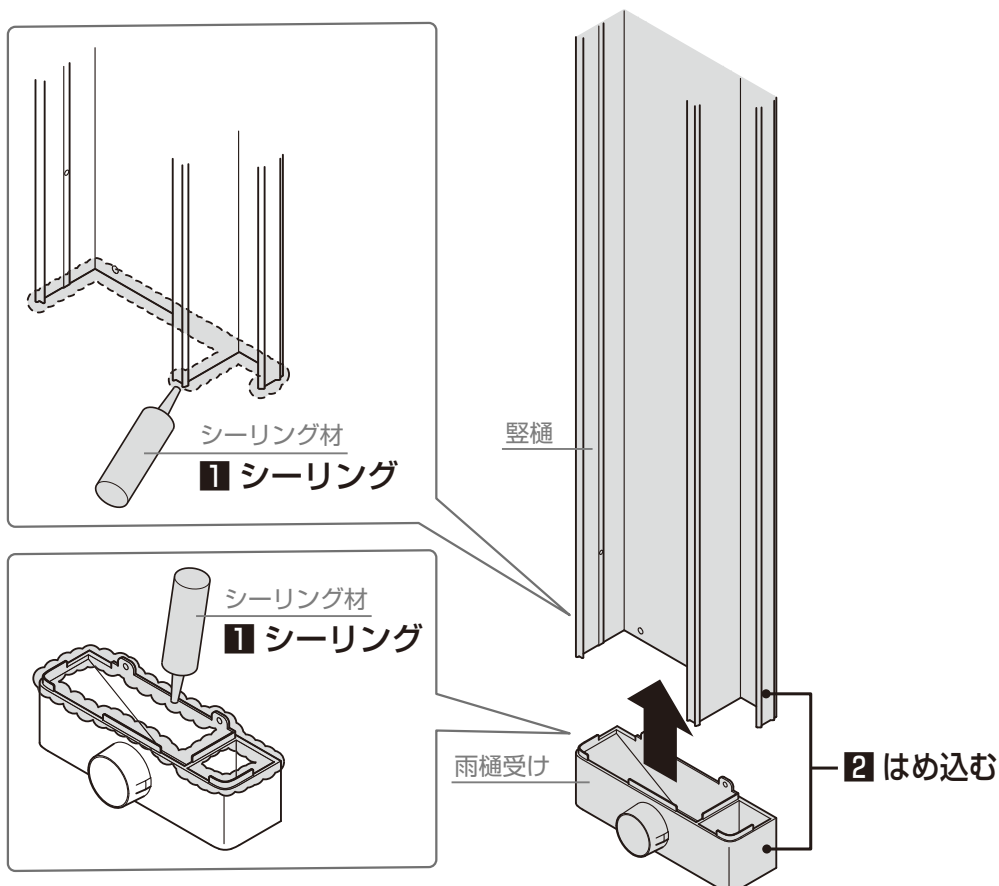
3-4-1 縦樋の加工

- ❶: 柱の上部の穴からG.L.までの寸法値を実測
- ❷: 縦樋を切断
- ❸: 縦樋に雨樋受け取付け穴 $\phi 4.5$ の穴加工
- ❹: ❸であけた穴に合うように主柱に $\phi 3.5$ の下穴を加工



3-4-2 シーリング

- ❶: 縦樋下部断面と雨樋受けにシーリングを塗布
- ❷: 縦樋下部に雨樋受けをはめ込む



3-4 縦樋

つづき

3-4-3 縦樋

1: 縦樋を主柱に【1b】【15b】と【14a】で取付け

お願い

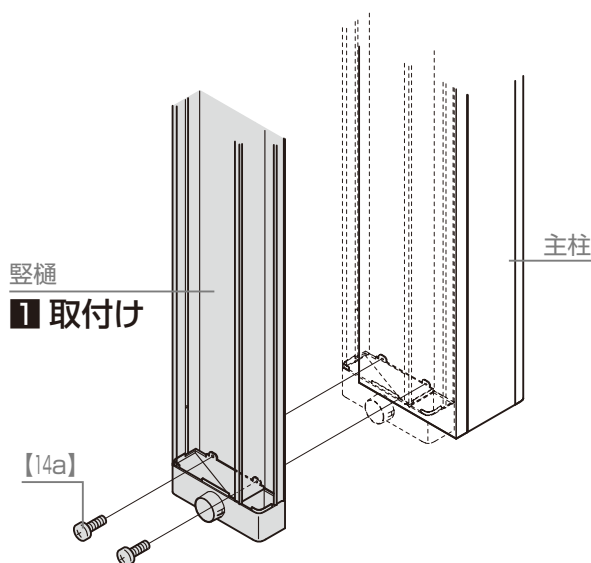
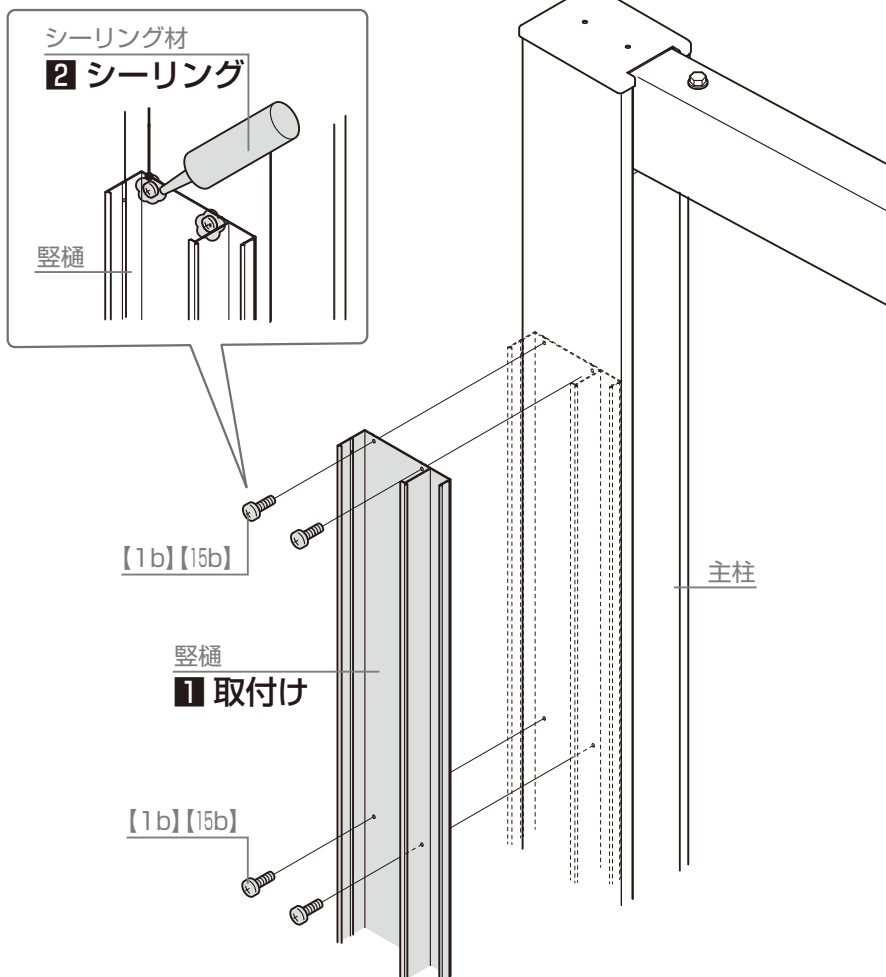
- 最下部の雨樋受けと共締め部分は【14a】のネジを使用してください。

2: 【1b】【15b】のネジ頭にシーリングを塗布

注意

▼ サイドパネルを付ける場合 ▼

- 縦樋を取付ける前にサイドパネルを付けてください。
- サイドパネルを付ける前に縦樋を取付けてしまうと、サイドパネル取付金具が取付なくなります。

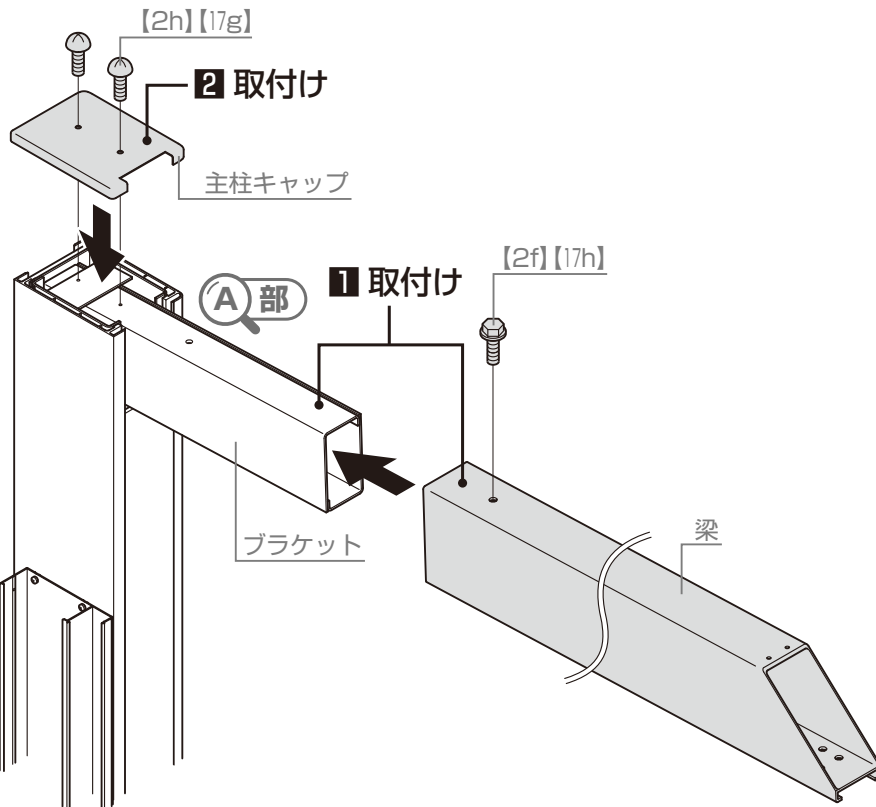
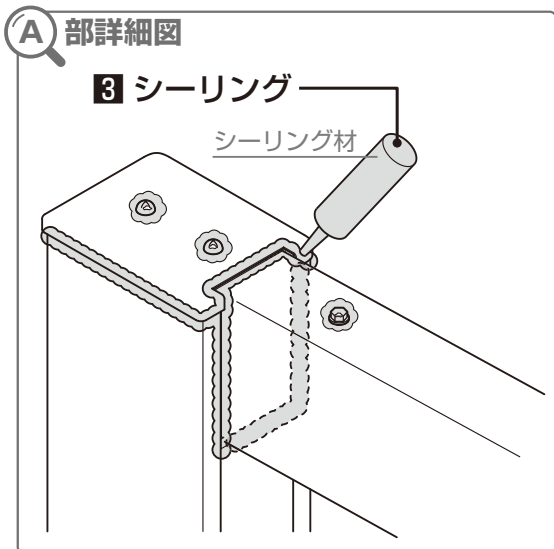


3 本体の施工

[2h]	φ5×20トラスタッピンネジ3種	[2f]	M8×30六角ボルト(PW・緩み止め付)
[17g]	φ5×20トラスタッピンネジ3種	[17h]	M8×30六角ボルト(PW・緩み止め付)

3-5 梁

- 1: 梁をブラケットに【2f】【17h】で取付け
- 2: 主柱キャップをブラケットに【2h】【17g】で取付け
- 3: 主柱キャップ部、梁、主柱キャップ接合部、【2h】【17g】、【2f】【17h】のネジ頭にシーリングを塗布



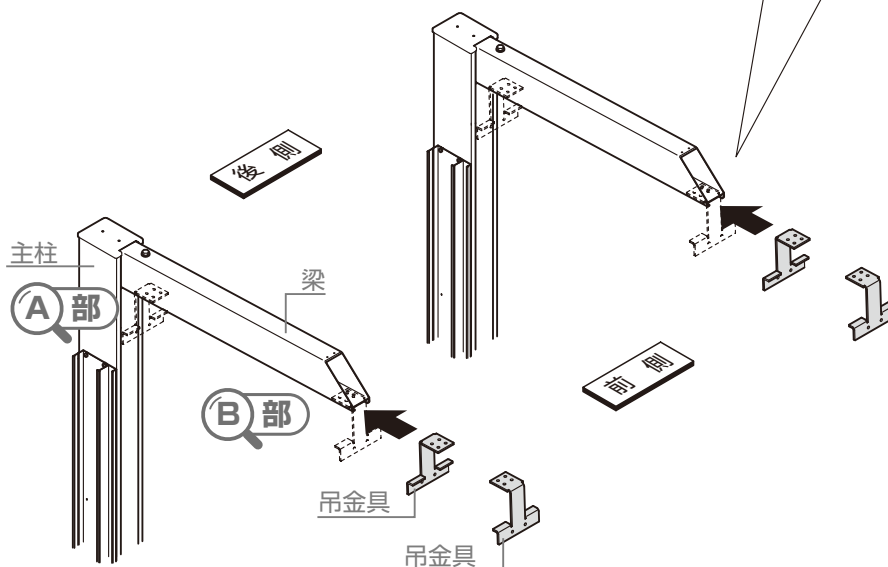
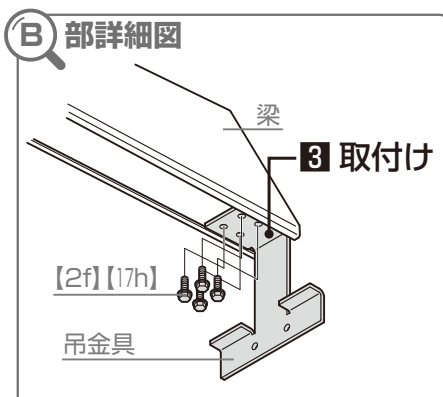
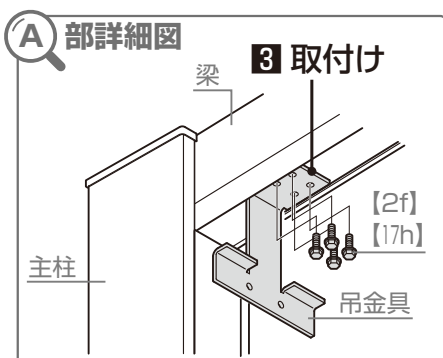
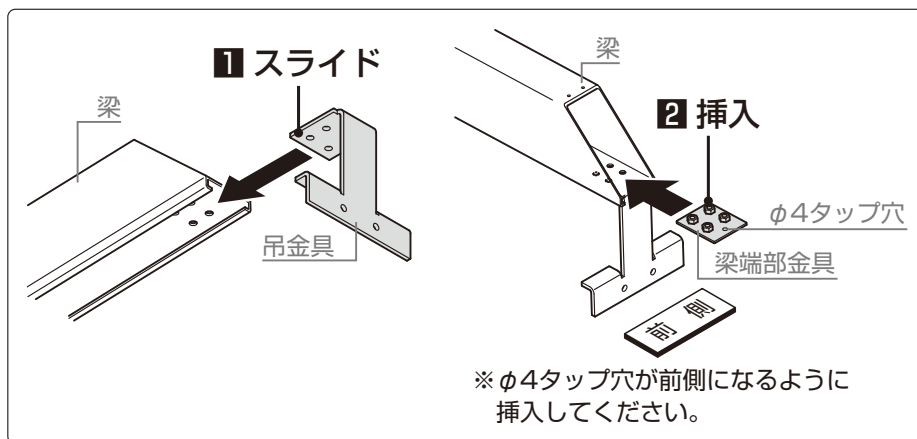
3-6 吊金具

- 1: 吊金具を梁にスライド

補足

- 後側(主柱側)の吊金具からスライドしてください。

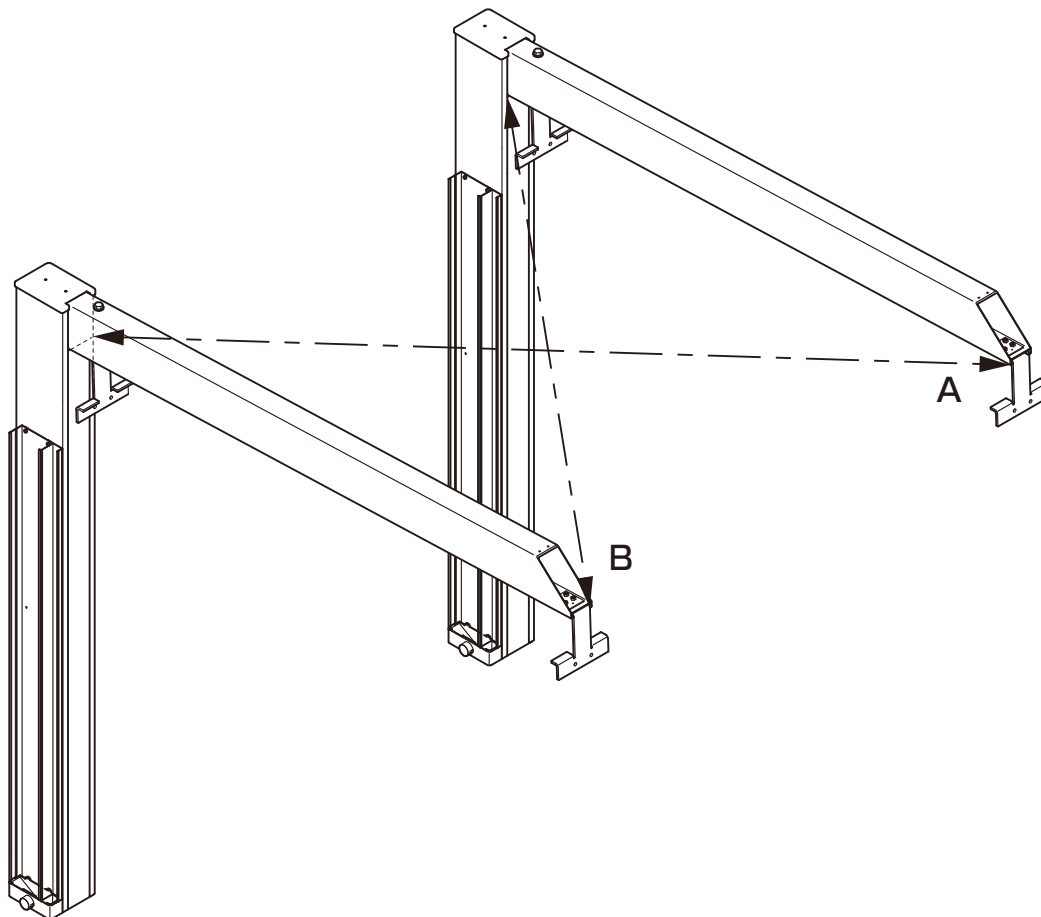
- 2: 梁先端金具を梁に挿入
- 3: 吊金具を梁に【2f】【17h】で取付け



3-7 梁の対角

❶: A寸法とB寸法を実測して梁の対角を測定

❷: 対角寸法をそろえる



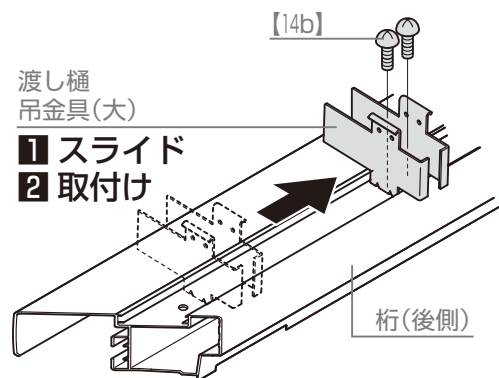
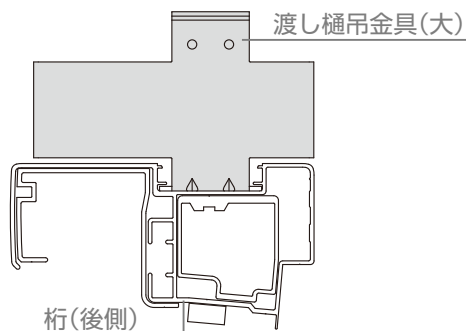
[14b]	φ4×12 トラスタッピンネジ3種	[2d]	φ5×12 ナベタッピンネジ3種	[2g]	M8×20 六角ボルト (PW・緩み止め付)
		[17d]	φ5×12 ナベタッピンネジ3種	[17a]	M8×20 六角ボルト (PW・緩み止め付)

3 本体の施工

3-8 渡し樋吊金具

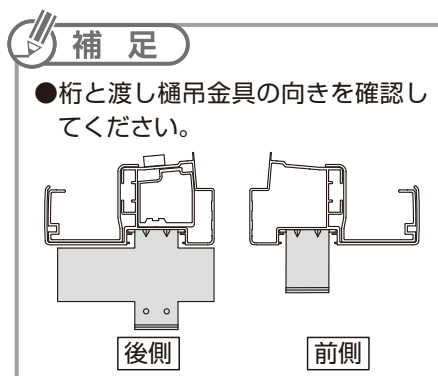
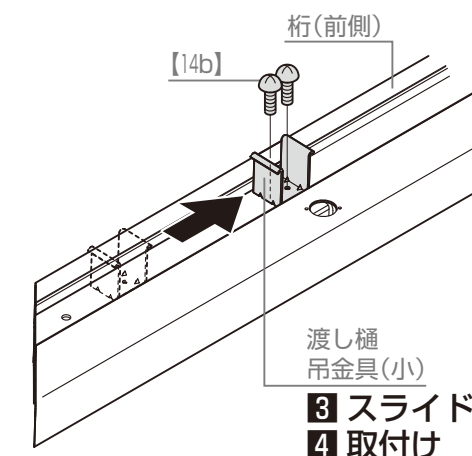
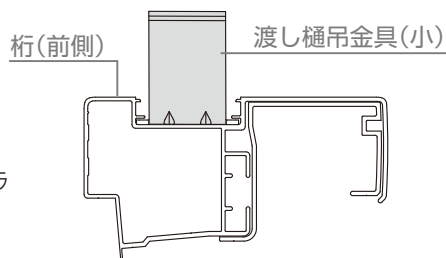
1: 渡し樋吊金具(大)を桁(後側)にスライド

2: 渡し樋吊金具(大)を桁に【14b】で取付け



3: 渡し樋吊金具(小)を桁(前側)にスライド

4: 渡し樋吊金具(小)を桁に【14b】で取付け



お願い

▼ 連棟の場合 ▼

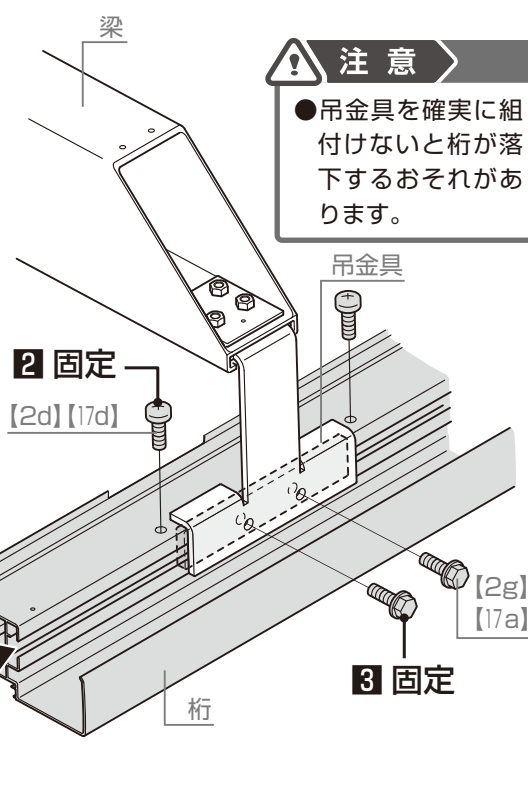
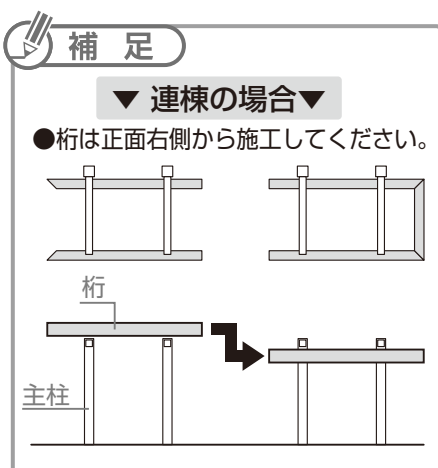
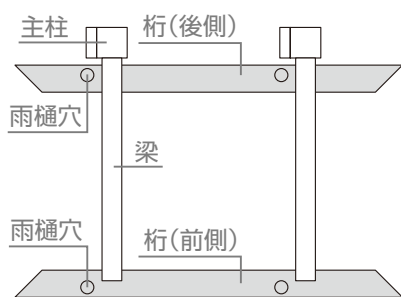
- 桁スリーブをボルト固定する前に、渡し樋吊金具を挿入してください。ボルトが干渉して挿入できなくなります。

3-9 桁

- 1: 吊金具裏板を吊金具の位置に移動
- 2: 吊金具裏板を【2d】【17d】で固定
- 3: 吊金具を桁に【2g】【17a】で固定

お願い

- 桁には前後、左右があります。組付けを誤ると正しく納まりません。桁の向き、雨樋穴の位置を確認し、正しく組付けてください。

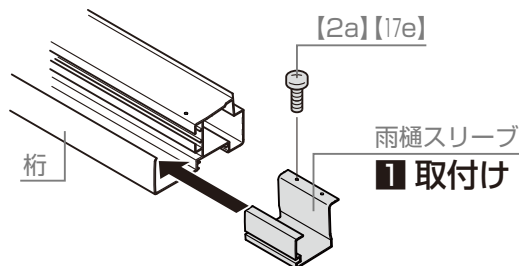


3 本体の施工

[2a]	φ4×16ナベタッピンネジ3種	[2g]	M8×20六角ボルト (PW・緩み止め付)
[17e]	φ4×16ナベタッピンネジ3種	[17a]	M8×20六角ボルト (PW・緩み止め付)

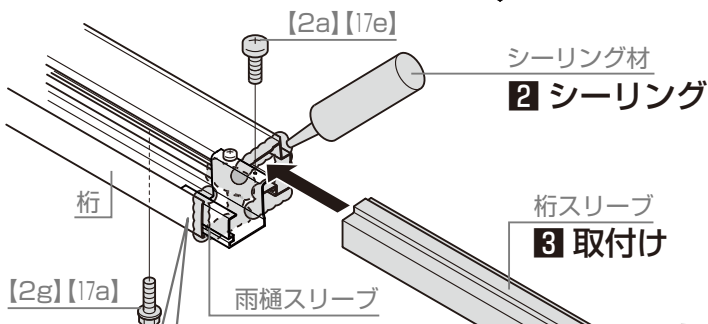
3-10 桁の組み立て（連棟の場合の作業）

1: 雨樋スリーブを桁に【2a】【17e】で取付け

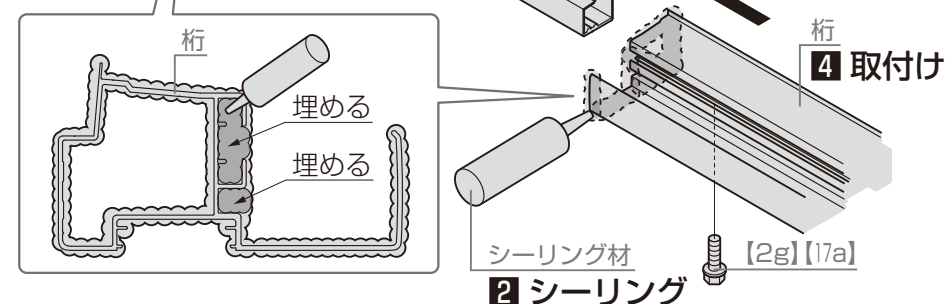


2: 桁の断面にシーリングを塗布

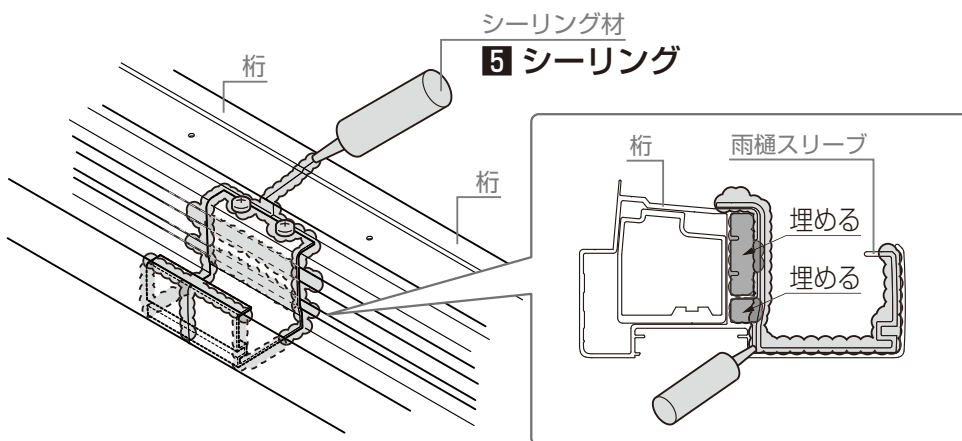
3: 桁スリーブを桁に【2f】【17h】で取付け



4: 桁スリーブ、雨樋スリーブに桁を【2a】【17e】、【2g】【17a】で取付け



5: 桁の接続部と雨樋スリーブと桁の接している箇所にシーリングを塗布



お願い

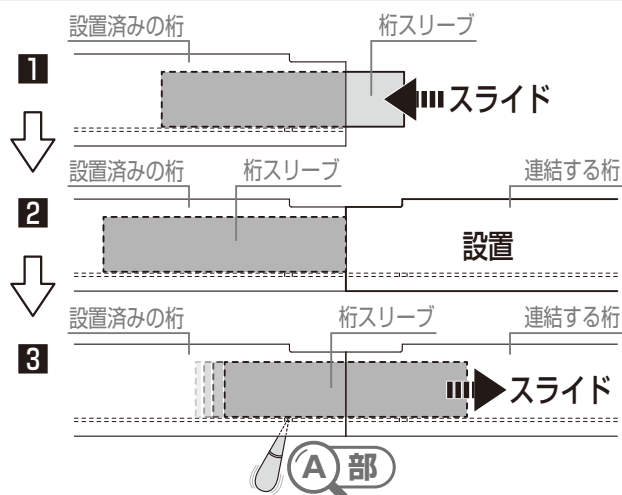
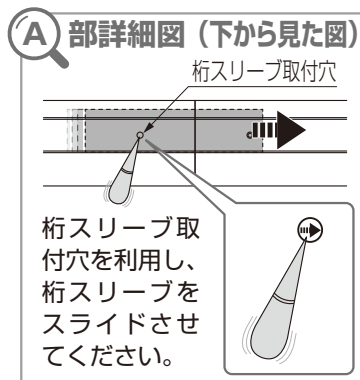
▼ 連棟側に施工スペースがない場合 ▼

● 桁（連棟側）は以下の手順で設置してください。

1: 桁スリーブと雨樋スリーブをスライドさせて桁内におさめる

2: 連棟側の桁を設置

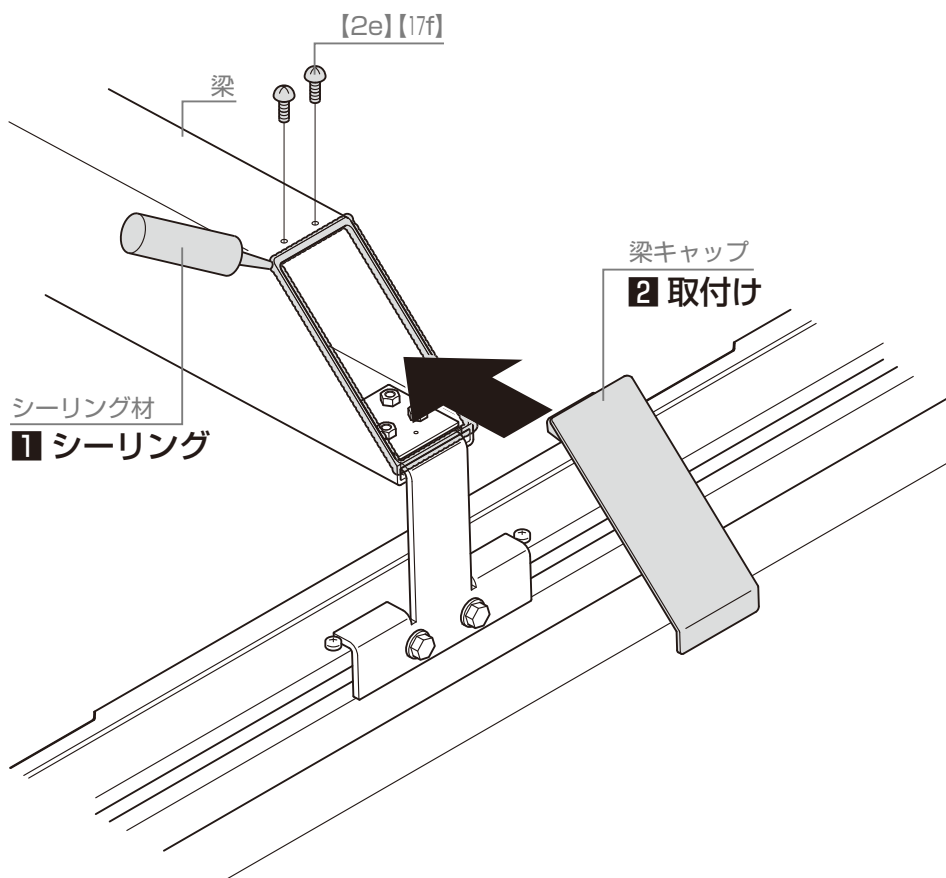
3: 桁スリーブと雨樋スリーブをスライドさせて桁に組み付け



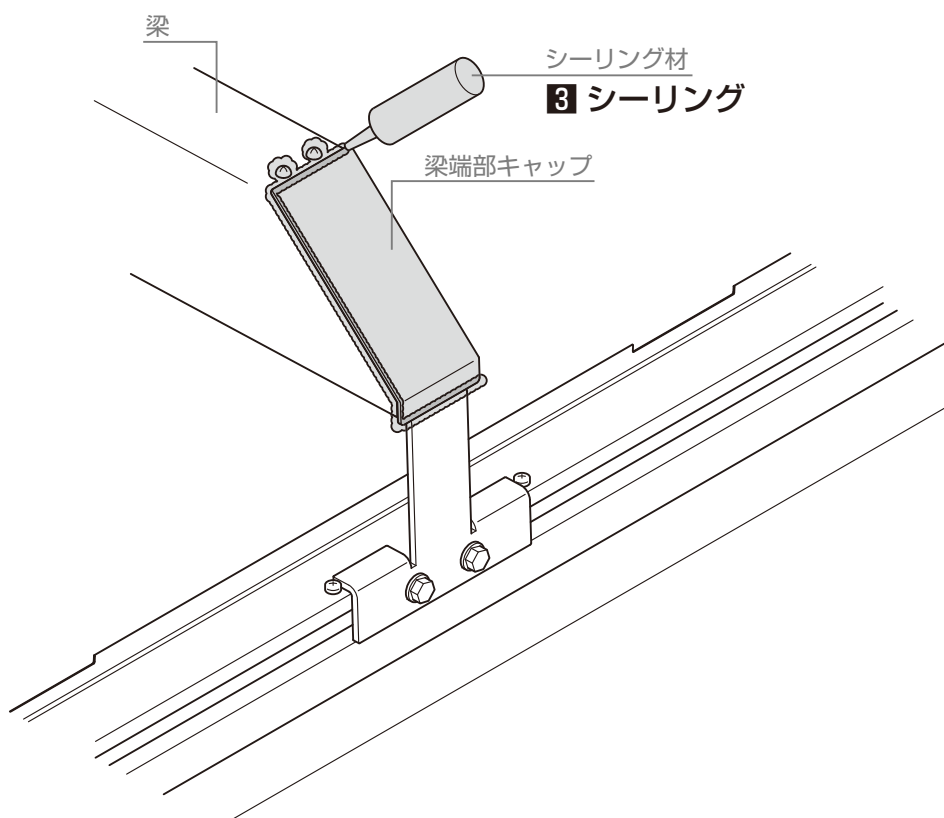
3-11 梁端部キャップ

1: 梁の小口にシーリングを塗布

2: 梁端部キャップを梁に[2e][17f]で
取付け



3: 梁と梁端部キャップの接続部
と[2e][17f]のネジ頭にシーリング
を塗布

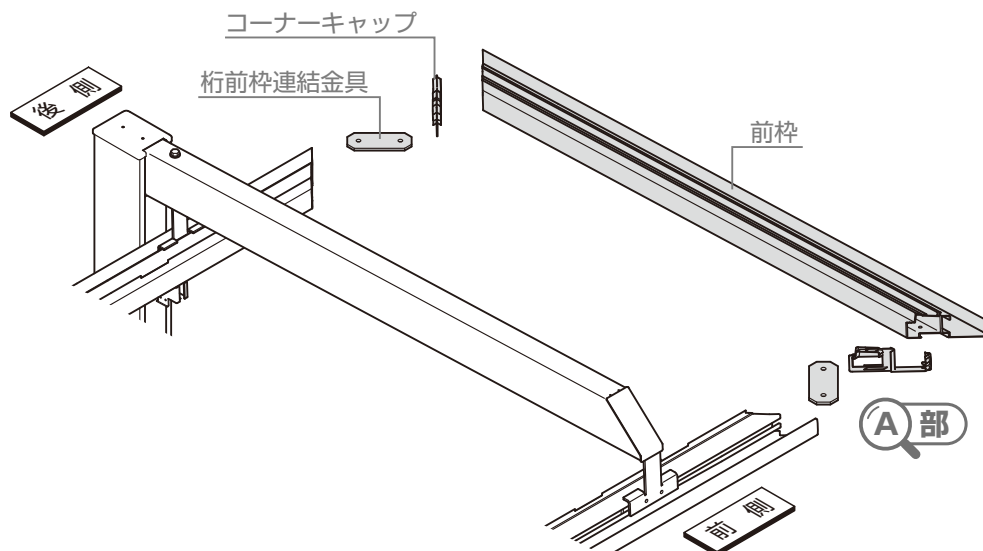


3 本体の施工

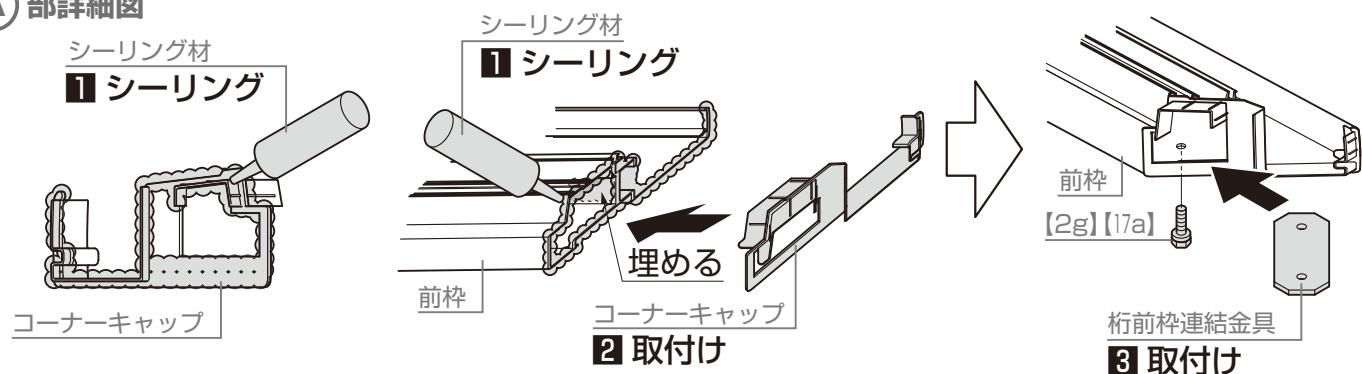
[2d]	φ5×12ナベタッピンネジ3種
[2g]	M8×20六角ボルト(PW・緩み止め付)
[17a]	M8×20六角ボルト(PW・緩み止め付)

3-12 前枠

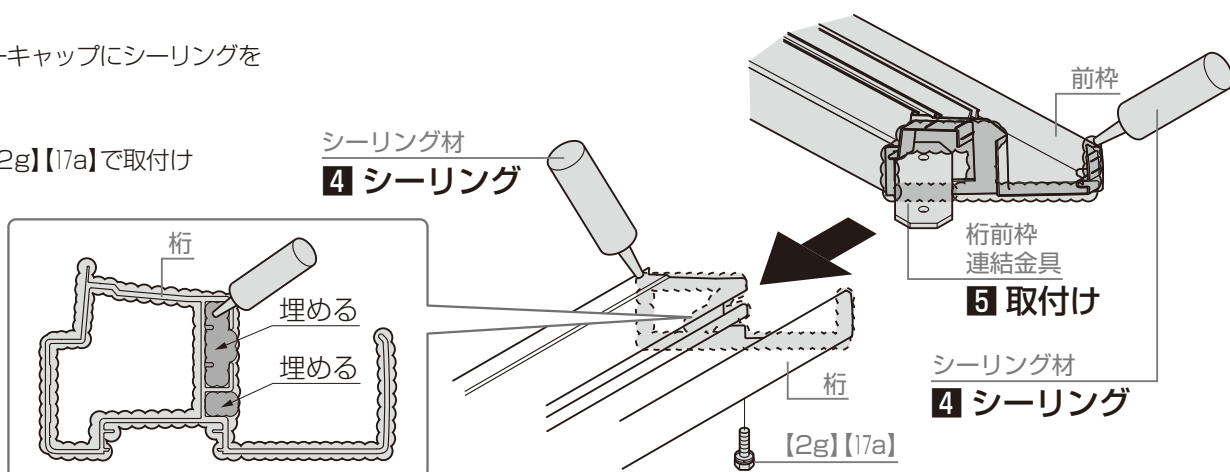
- 1: 前枠とコーナーキャップにシーリングを塗布
- 2: コーナーキャップを前枠に取付け
- 3: 桁前枠連結金具を前枠に【2g】【17a】で取付け



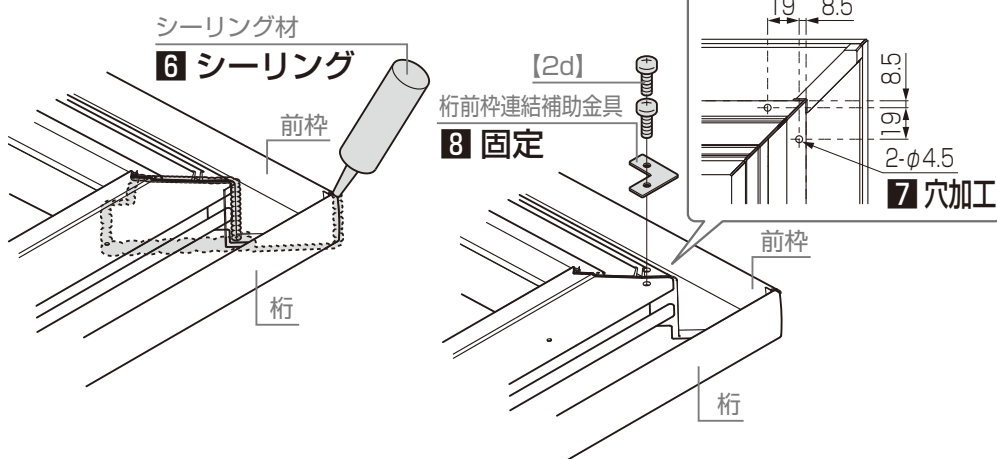
A 部詳細図



- 4: 桁とコーナーキャップにシーリングを塗布
- 5: 前枠を桁に【2g】【17a】で取付け



- 6: 桁と前枠の接続部にシーリングを塗布



補足

- 7、8は600タイプのための作業です。900タイプには取付けません。

3-13 中間アーチ

お願い

▼ 照明を取付ける場合 ▼

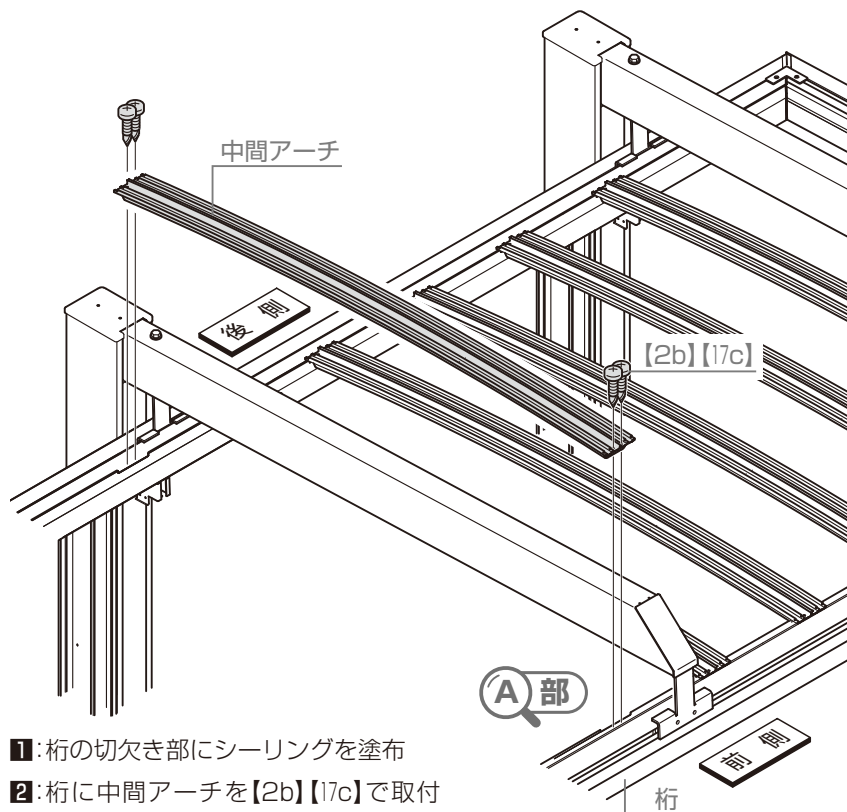
- 照明の取付を先に行なってください。

▼ サイドパネルを取付ける場合 ▼

- 補強梁の取付を先に行なってください。

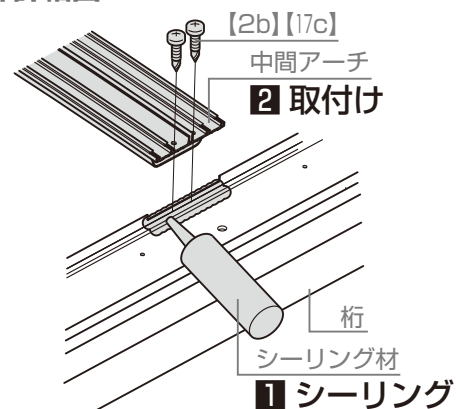
▼ 照明+サイドパネルを取付ける場合 ▼

- 補強梁→照明→中間アーチの順で施工してください。



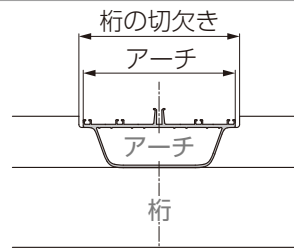
- 1: 桁の切欠き部にシーリングを塗布
- 2: 桁に中間アーチを【2b】【17c】で取付け

A 部詳細図



お願い

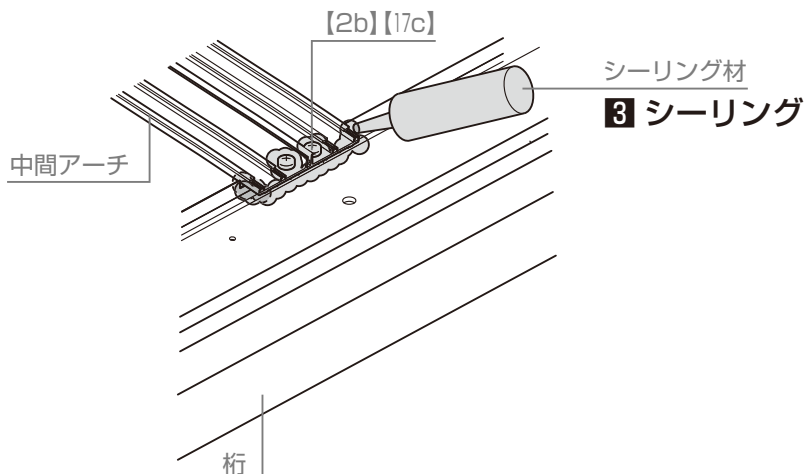
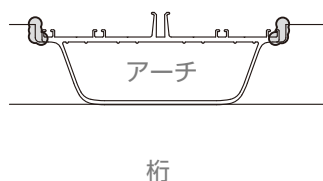
- アーチと桁の切欠き部のセンターをあわせてください。



- 3: 桁と中間アーチの接続部および【2b】【17c】のネジ頭にシーリングを塗布

お願い

- アーチと桁のすき間を埋めるようにシーリングしてください。



3 本体の施工

3-14 屋根材

3-14-1 屋根材種類の確認

1: 取付ける屋根材と向きを確認

	700ピッチW30	700ピッチW25	700ピッチW20	500ピッチW30	500ピッチ W25	500ピッチW20
端部屋根材						
中間屋根材						



補 足

●表内の記号は下記です。

▶: 表示ラベル 中間側

◀: 表示ラベル 端部側

3-14-2 事前確認



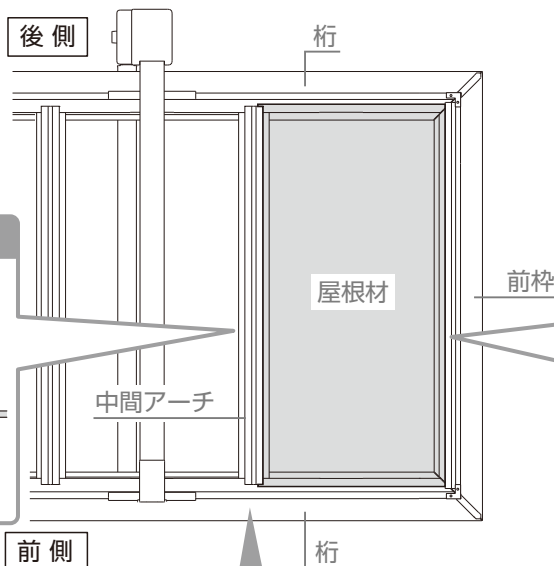
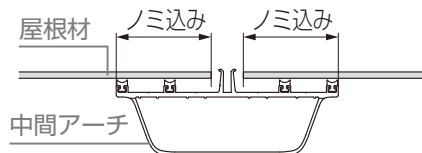
お願い

- 屋根材は均等に配置してください。



お願い

- 屋根材の中間アーチへのノミ込み寸法は均等になるようにしてください。



お願い

- 屋根材の前枠へのノミ込み寸法は22mmになるようにしてください。

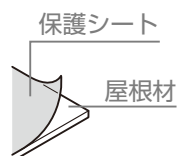


※数値は目安です。



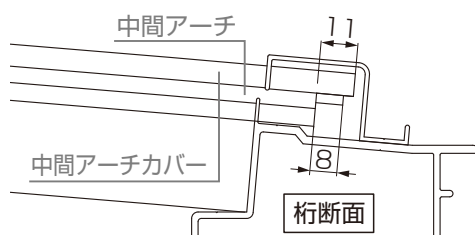
補 足

- 屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。



お願い

- 中間アーチカバーは中間アーチより11mm飛び出すように取付けてください。
- 屋根材の桁へのノミ込み寸法は8mmになるようにしてください。



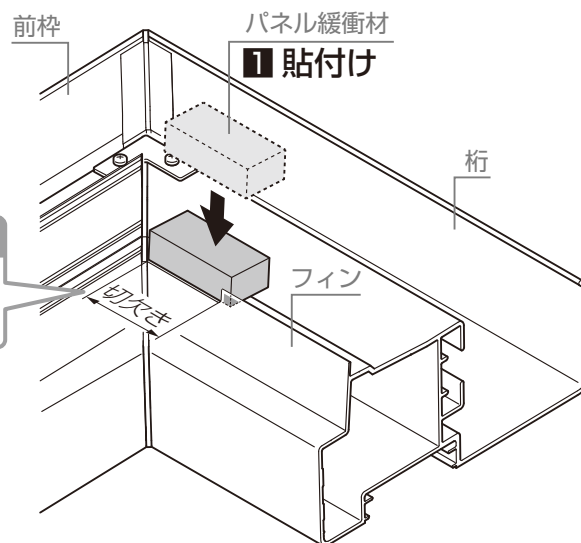
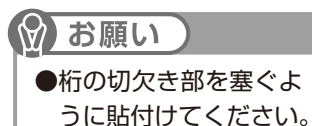
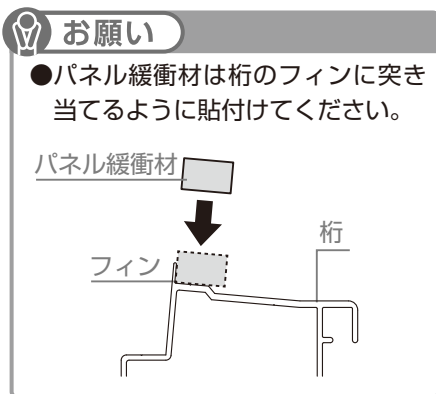
※数値は目安です。

3-14 屋根材

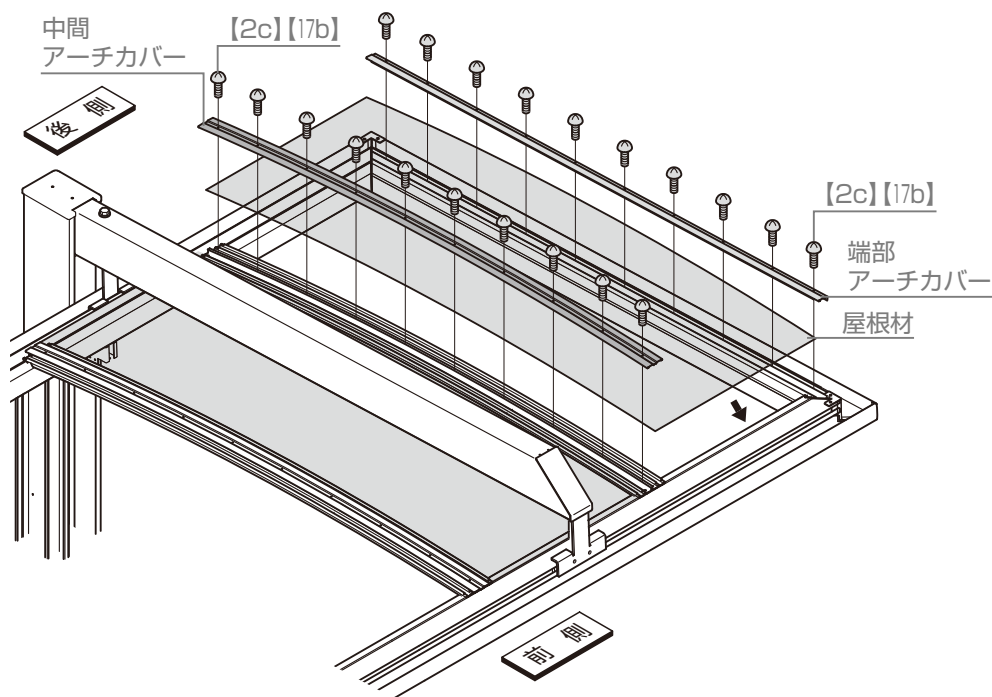
つづき

3-14-3 パネル緩衝材の貼付け

1: パネル緩衝材を桁の両端部に貼付け

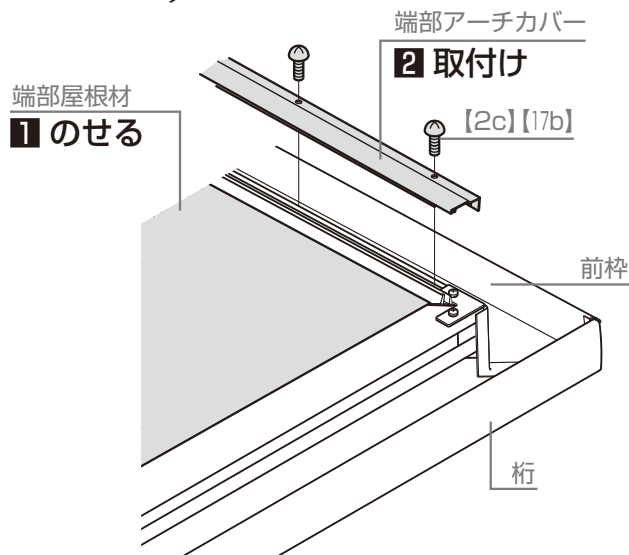


3-14-4 屋根材



1: 端部屋根材を前枠、桁にのせる

2: 端部アーチカバーを前枠に[2c][17b]で取付け



[2b]	φ5×13ナベドリルネジ	[2c]	φ5×12トラスタッピンネジ3種
[17c]	φ5×13ナベドリルネジ	[17b]	φ5×12トラスタッピンネジ3種

3 本体の施工

3-14 屋根材

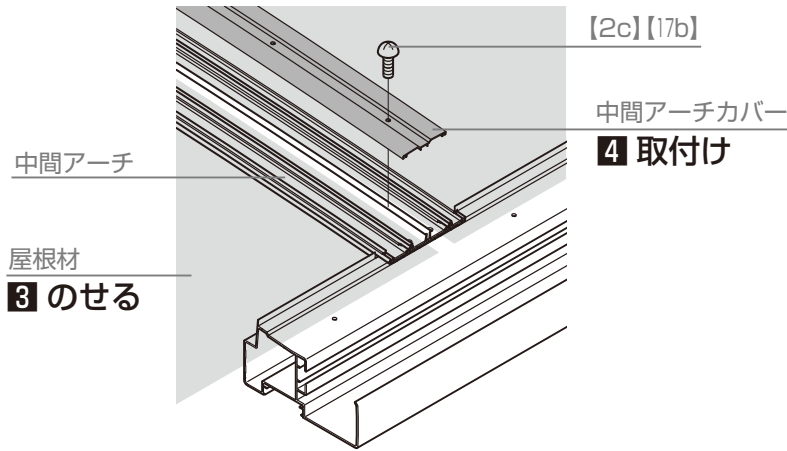
つづき

3-14-4 屋根材

つづき

3: 屋根材を中間アーチにのせる

4: 中間アーチカバーを中間アーチに【2c】【17b】で取付け



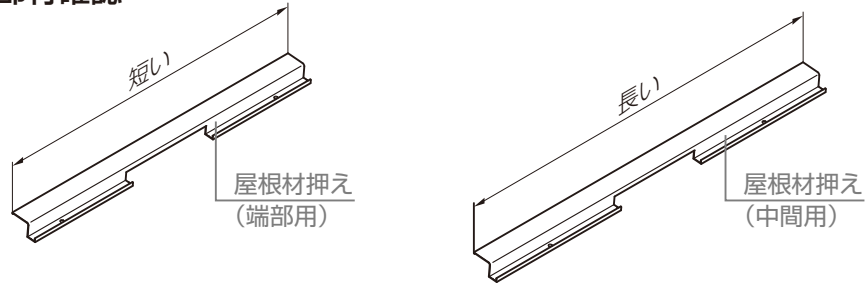
3-14-5 屋根材押え

1: 屋根材押えの部材を確認

補 足

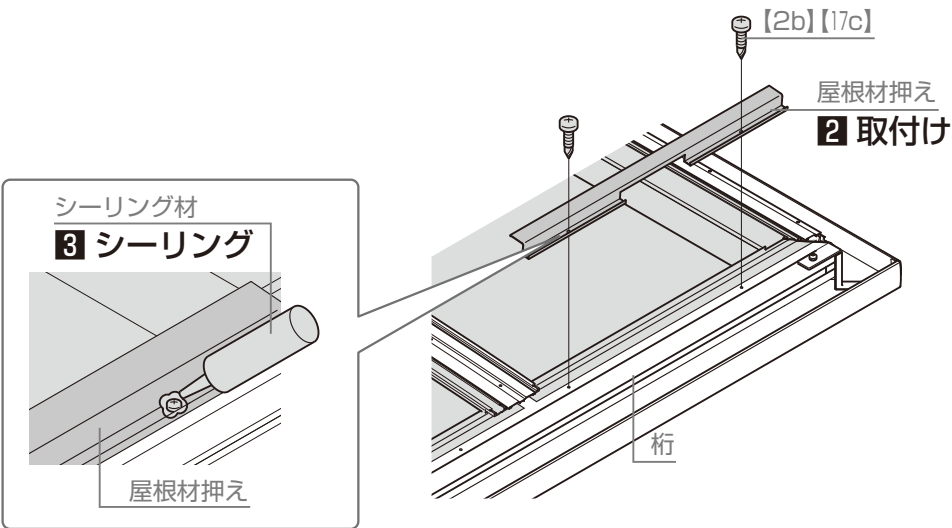
● 屋根材押えは
端部用＝短い 中間用＝長い

1 部材確認



2: 屋根材押えを桁に【2b】【17c】で取付け

3: 取付けた【2b】【17c】のネジ頭にシーリングを塗布



3 本体の施工

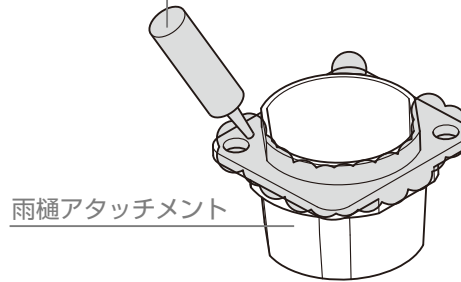
3-15 渡し樋

3-15-1 雨樋アタッチメント

- 1:** 雨樋アタッチメントにシーリングを塗布

シーリング材

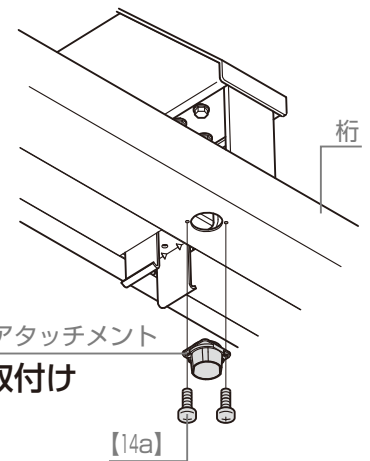
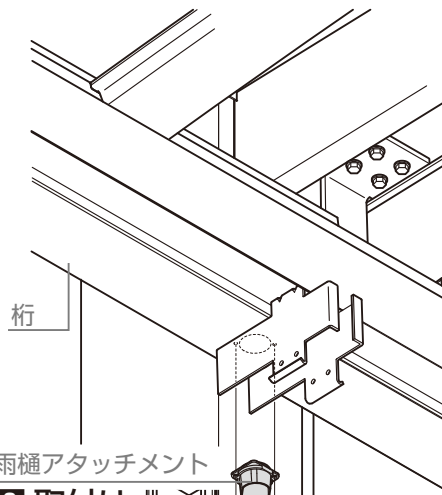
1 シーリング



- 2:** 雨樋アタッチメントを桁に【14a】で取付け

後側

前側

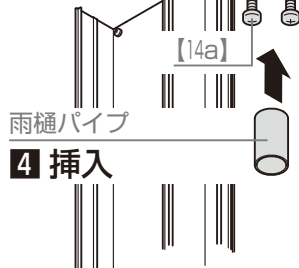


- 3:** 雨樋パイプに接着剤を塗布

- 4:** 雨樋パイプを雨樋アタッチメントに挿入

雨樋アタッチメント

2 取付け



接着剤

3 接着剤



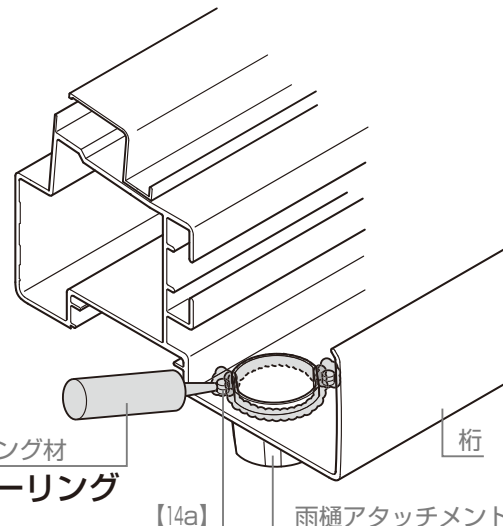
- 5:** 取付けた【14a】のネジ先と穴の周囲にシーリングを塗布

シーリング材

5 シーリング

【14a】

雨樋アタッチメント



3-15-2 渡し樋の挿入

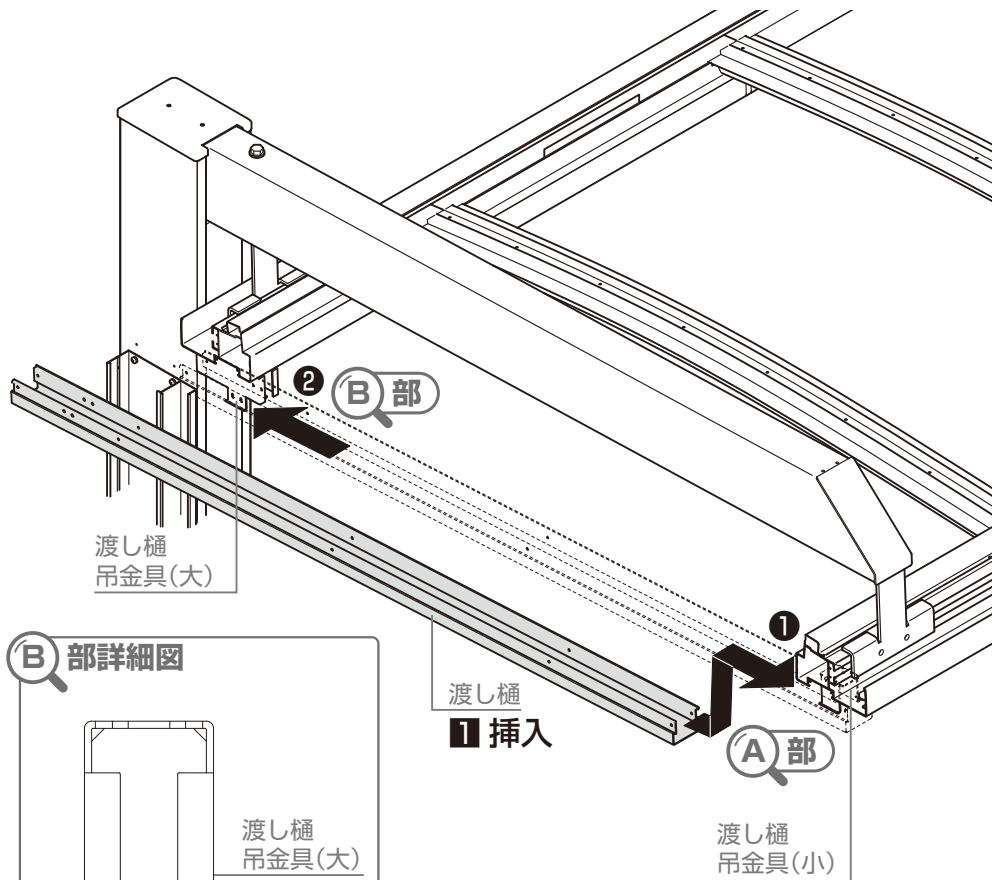
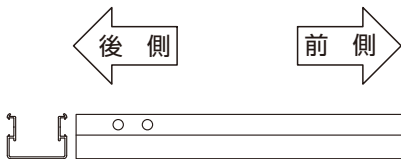
①: 渡し樋を渡し樋吊金具に、スライドさせて挿入

注意

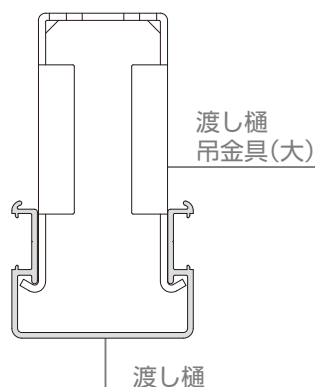
- 渡し樋を挿入する際は周辺に障害物がないことを必ず確認してください。

補足

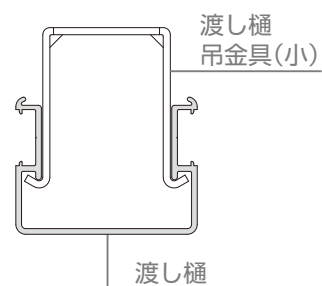
- 渡し樋は前後に注意してください。



B部詳細図



A部詳細図



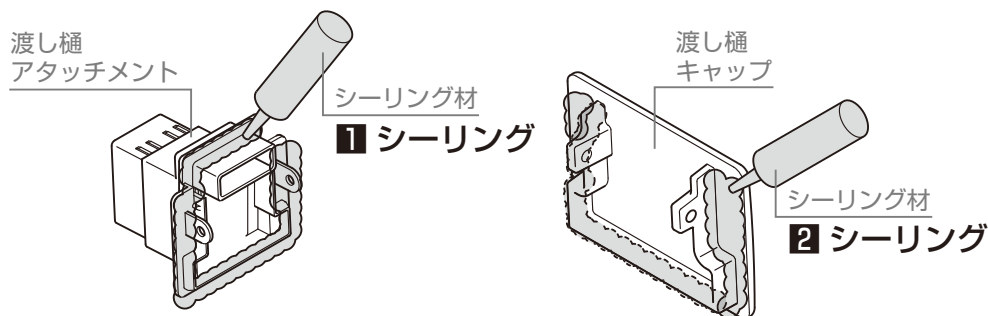
3-15 渡し樋

つづき

3-15-3 渡し樋の取付け

❶: 渡し樋アタッチメントにシーリングを塗布

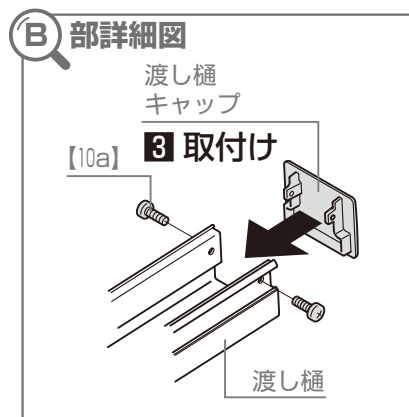
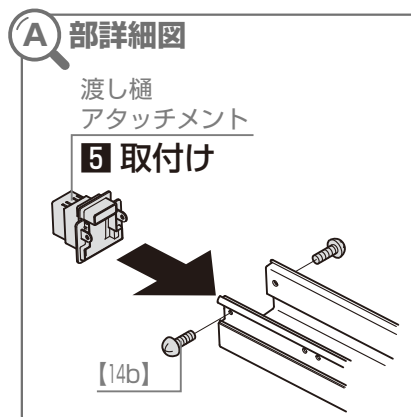
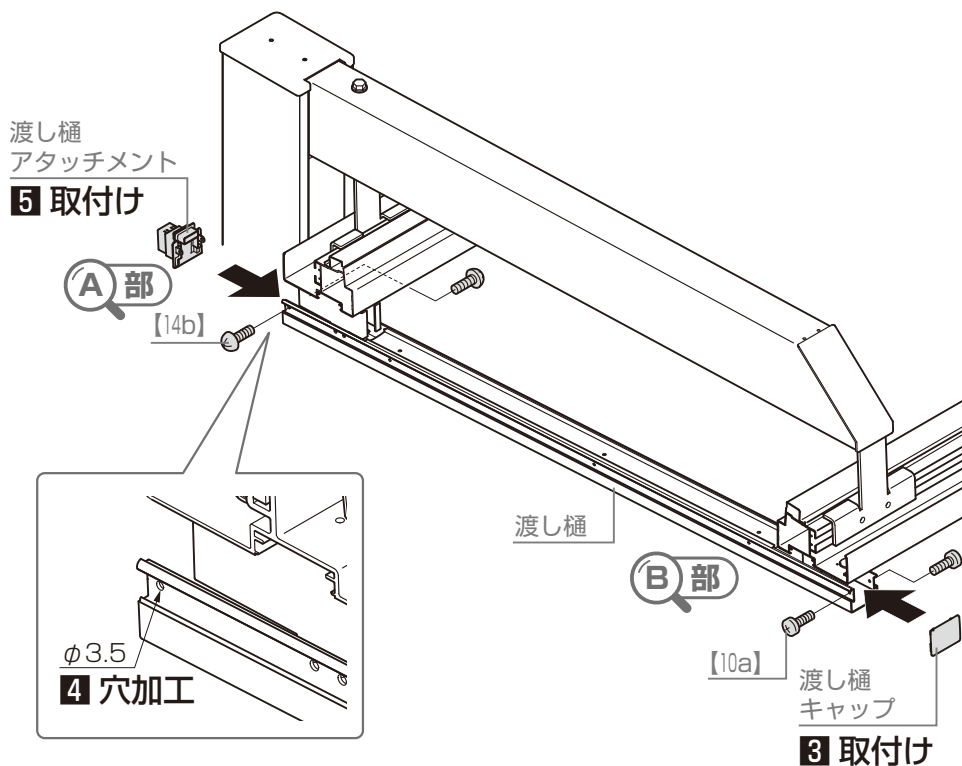
❷: 渡し樋キャップにシーリングを塗布



❸: 渡し樋キャップを渡し樋に【10a】で取付け

❹: 渡し樋に、渡し樋アタッチメント取付穴φ3.5を写し穴加工

❺: 渡し樋アタッチメントを渡し樋に【14b】で取付け



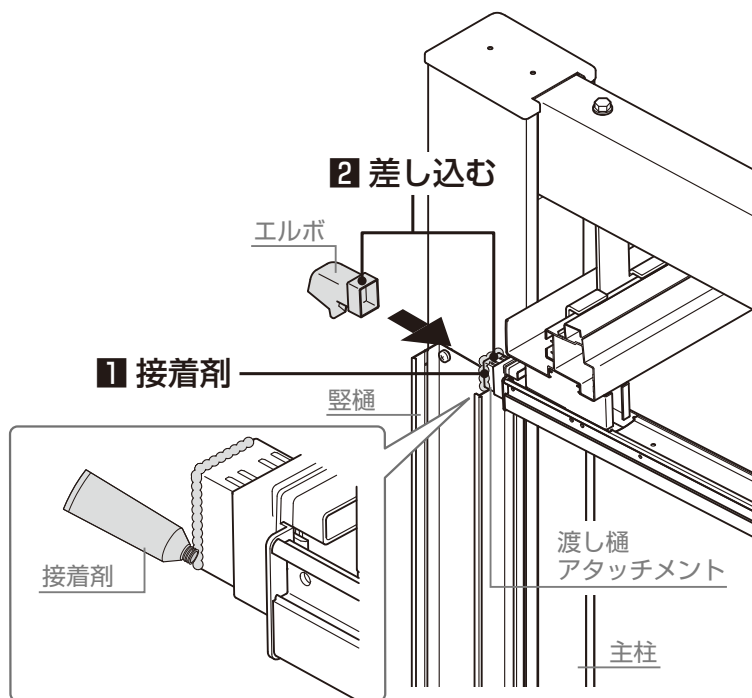
3 本体の施工

3-16 縦樋カバー

3-16-1 縦樋部材

❶: 渡し樋アタッチメントに接着剤を塗布

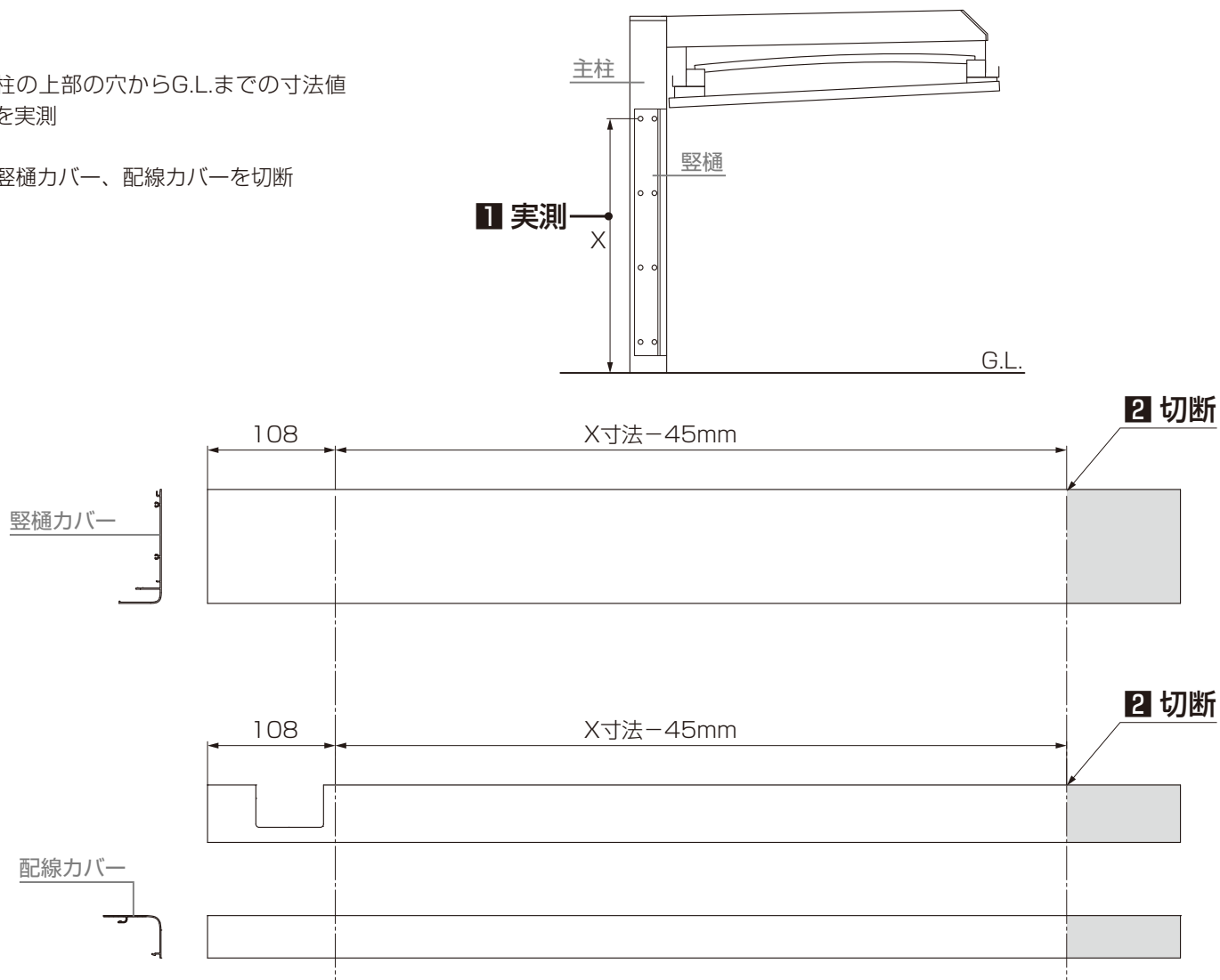
❷: エルボを渡し樋アタッチメントに差し込む



3-16-2 部材の加工

❶: 柱の上部の穴からG.L.までの寸法値を実測

❷: 縦樋カバー、配線カバーを切断



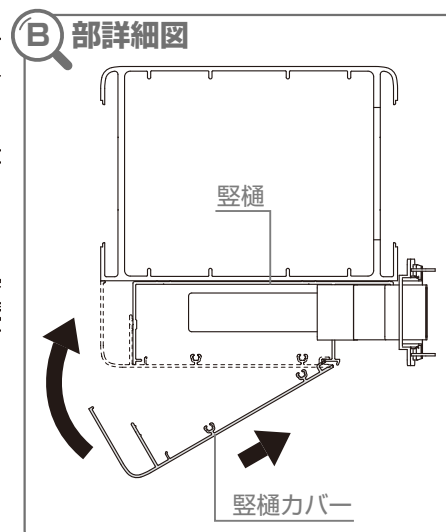
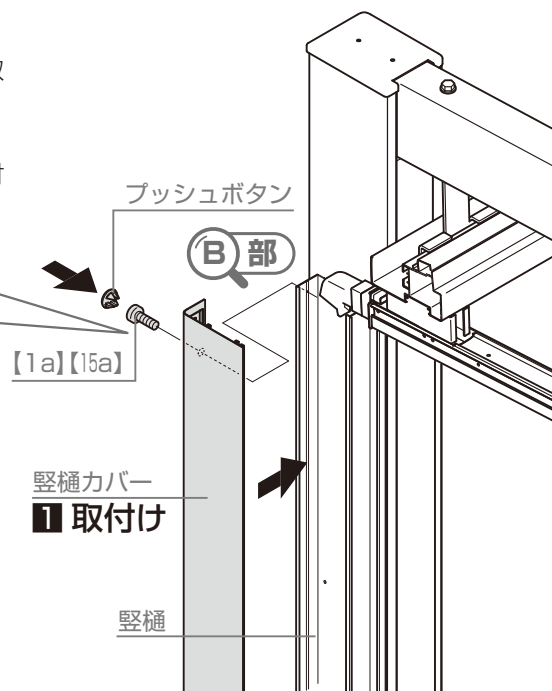
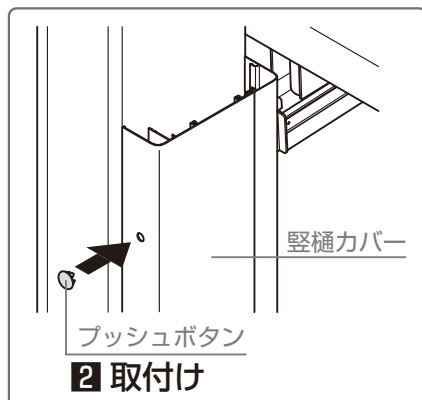
3-16 竖樋カバー

つづき

3-16-3 竖樋カバー

❶: 竖樋カバーを竖樋に【1a】【15a】で取付け

❷: プッシュボタンを竖樋カバーに取付け



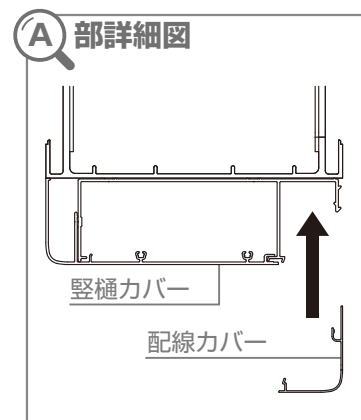
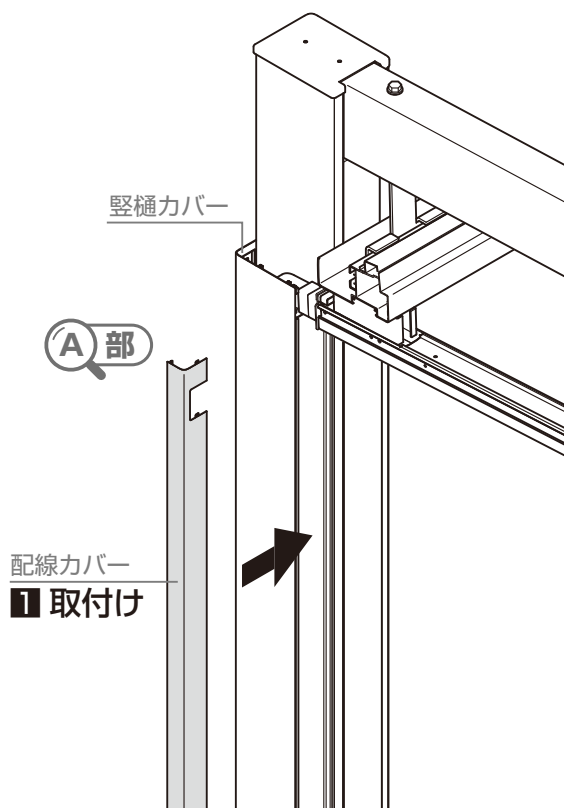
3-16-4 配線カバー

❶: 配線カバーを竖樋に取付け

お願い

▼ 照明を取付ける場合 ▼

● 照明を取付ける場合は、配線を取りまわした後に取付けてください。

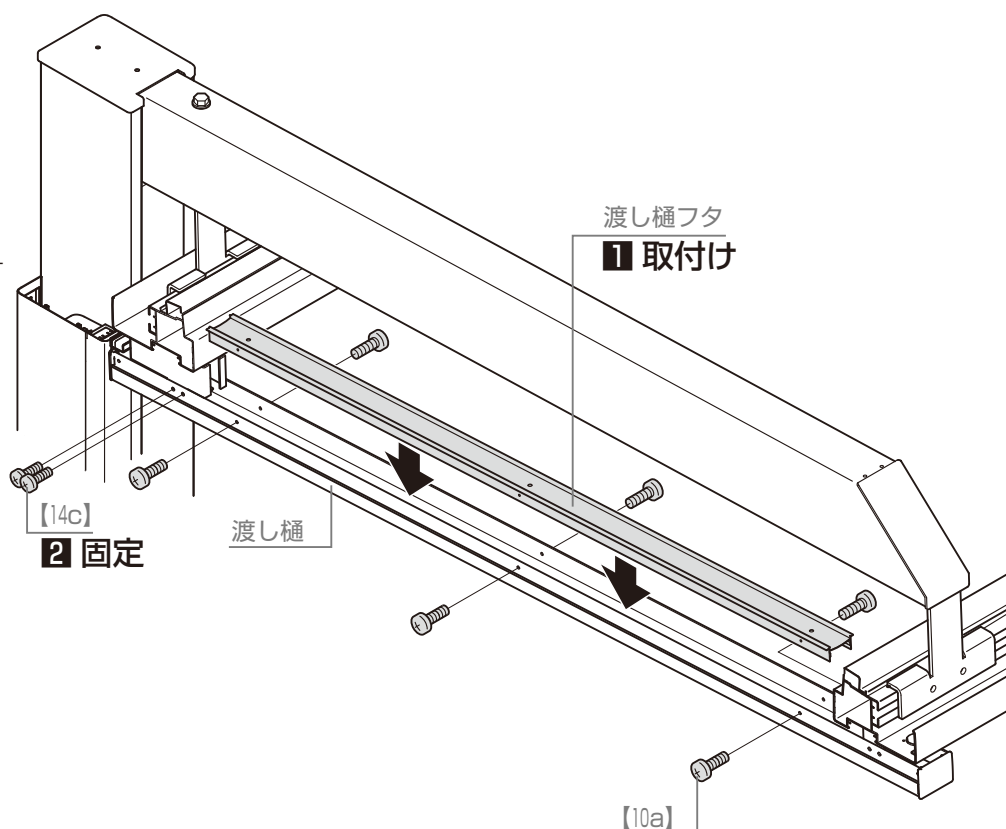


3-17 渡し樋と竖樋カバーの仕上げ

つづき

3-17-1 渡し樋フタの取付け

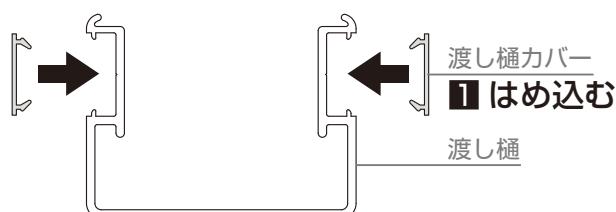
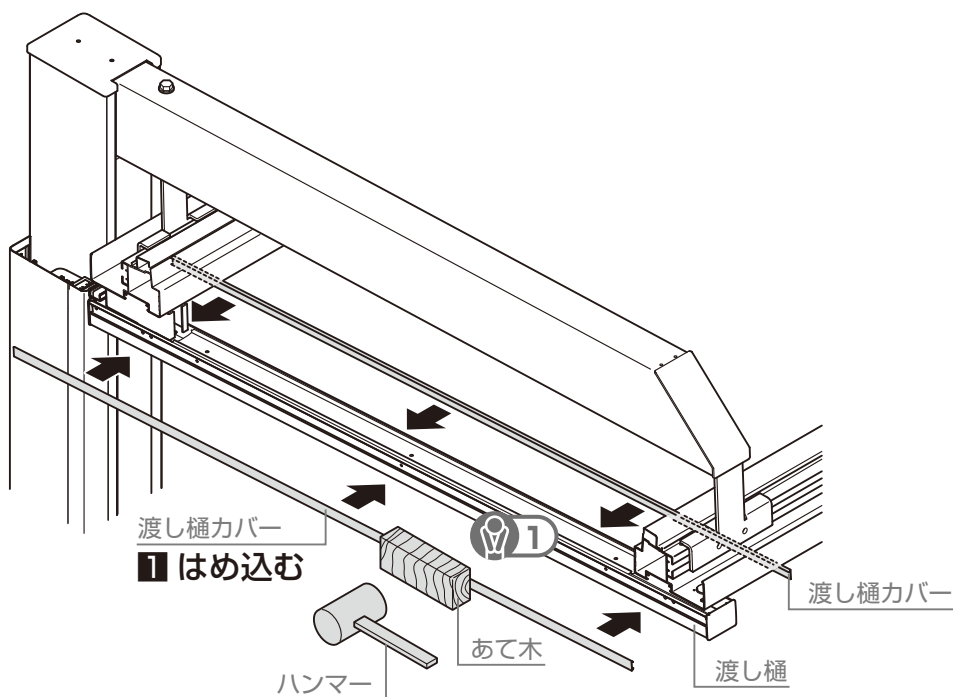
- ❶: 渡し樋フタを渡し樋に【10a】で取付け
- ❷: 渡し樋を【14c】で固定



3-17-2 渡し樋カバーの取付け

- ❶: 渡し樋カバーを渡し樋にはめ込む

お願い 1
● 渡し樋カバーはあて木をあてがい、ハンマー等ではめ込んでください。



3 本体の施工

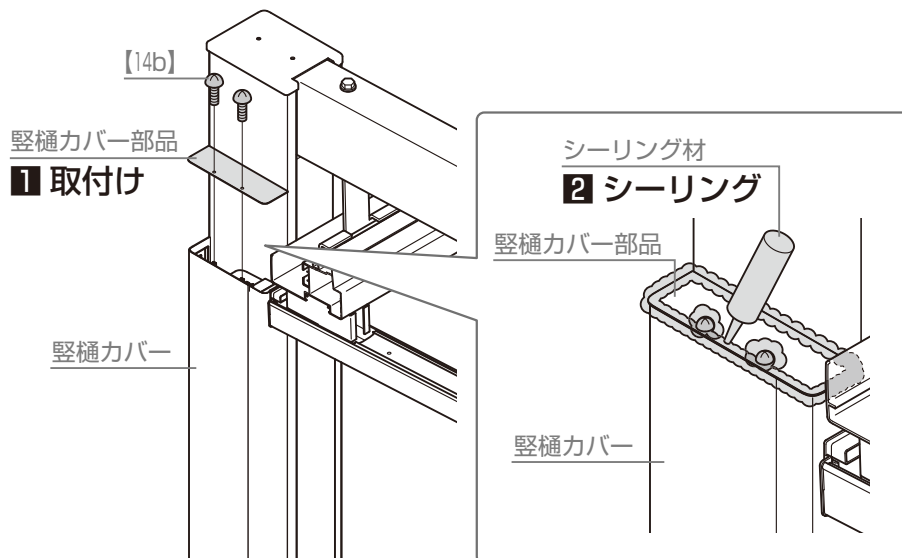
3-17 渡し樋と竖樋カバーの仕上げ

つづき

3-17-3 竖樋カバー部品

❶: 竖樋カバー部品を竖樋カバーに【14b】で取付け

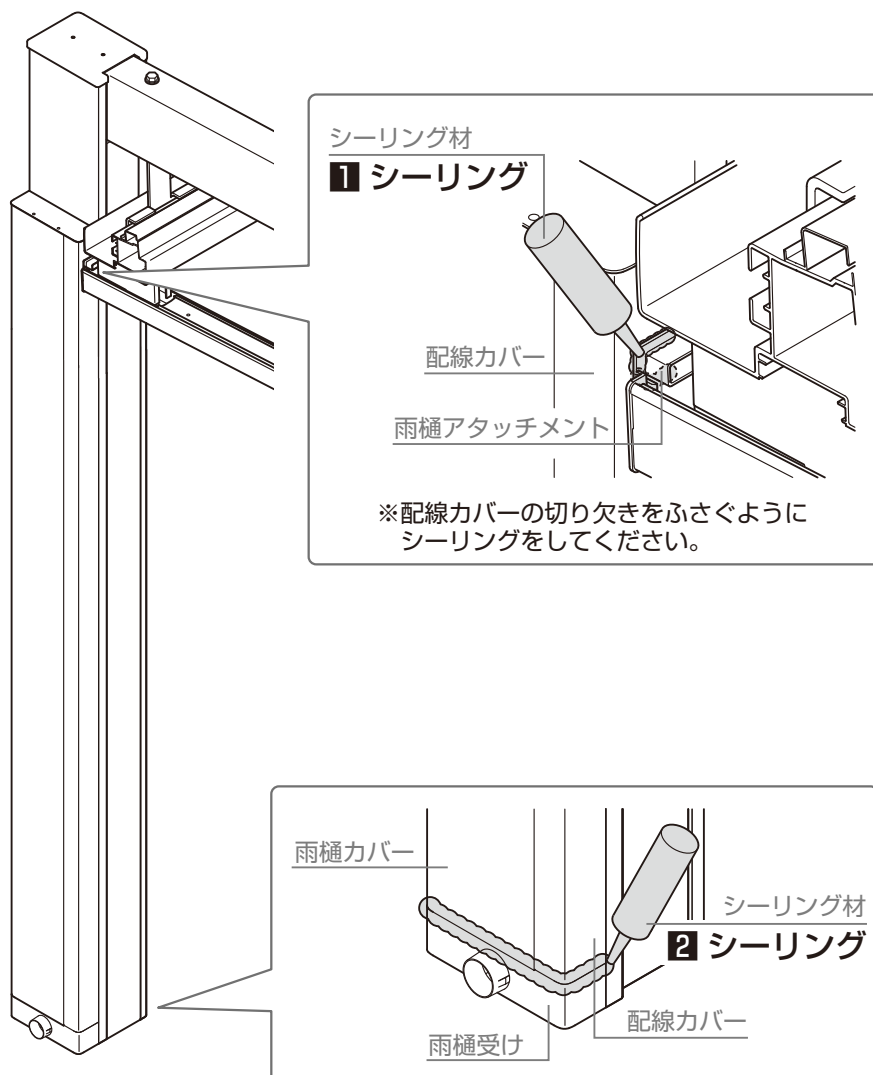
❷: 竖樋カバー部品と竖樋カバーの接続部分と【14b】のネジ頭にシーリングを塗布



3-18 シーリング

❶: 配線カバーと雨樋アタッチメントの接続部分にシーリングを塗布

❷: 雨樋受けと雨樋カバー、配線カバーの接続部分にシーリングを塗布



3 本体の施工

3-19 桁カバー

3-19-1 | 加工

補 足

▼ サイドパネル柱が付く場合 ▼

● 桁カバーの切断数・部材数が増えます。

▼ 前枠側の場合 ▼

1: 切断不要

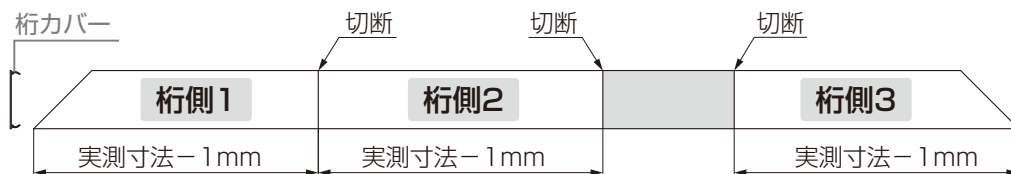
桁カバー



▼ 桁単体の場合 ▼

1: 実測して、切断

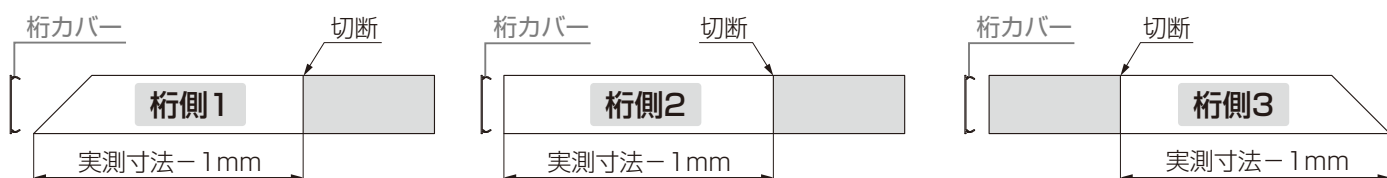
桁カバー



▼ 連棟の場合 ▼

1: 実測して、切断

桁カバー

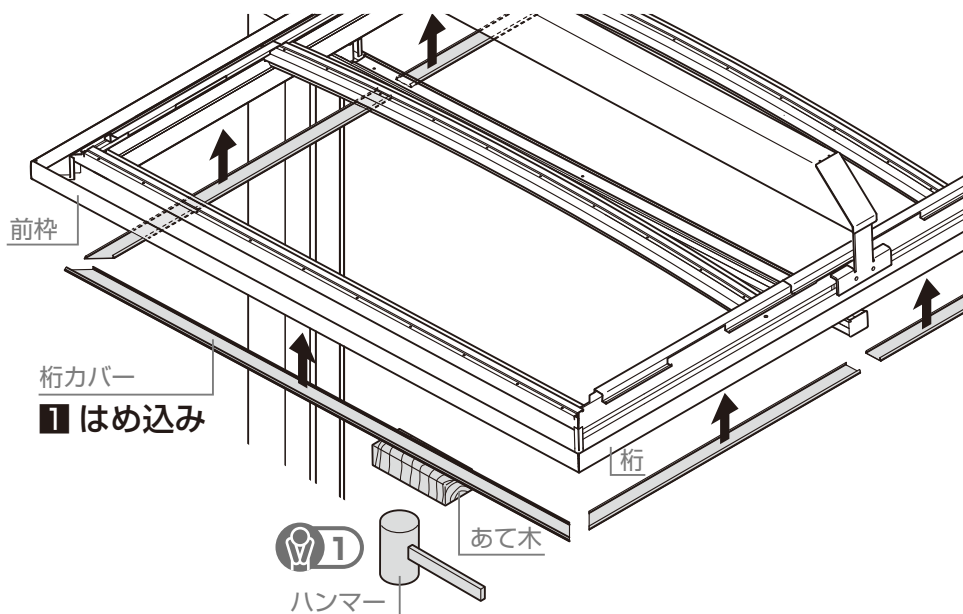


3-19-2 | 取付け

1: 桁カバーを前枠、桁にはめ込む

お願い 1

● 桁カバーはあて木をあてがい、ハンマー等ではめ込んでください。



4 直接照明の取付け

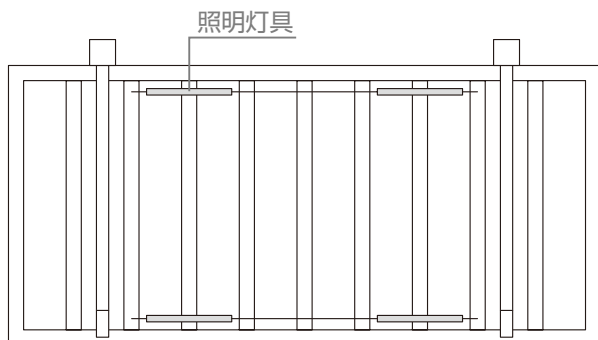
※中間アーチを取付ける前に行なってください。

4-1 照明配置

お願い

- 推奨電源線はVCT0.75mm²(sq)ケーブルです。太い電源線を用いた場合、取り回しが難しくなることがあります。

▼ 600タイプ ▼ ※図の照明配置は参考です。



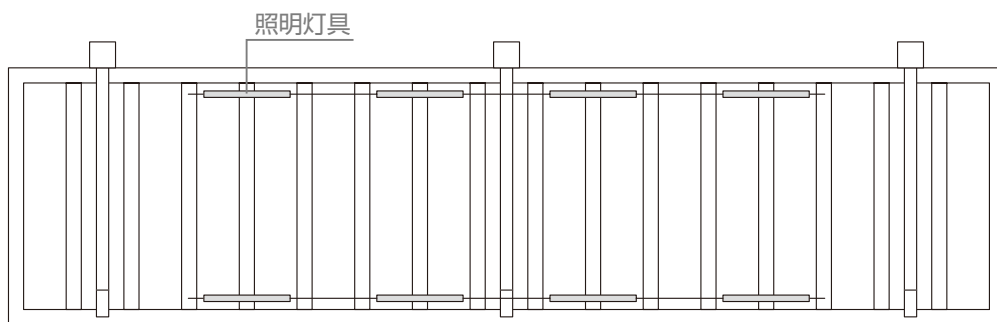
●桁1本に対する最大取付数

	片支持600N/m ²				片支持900N/m ²			
	基本仕様		サイドパネル仕様		基本仕様		サイドパネル仕様	
	単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟
W20	2	2	2	2	2	2	2	2
W25	2	2	2	2	2	2	2	2

●1配線で連結できる最大数

片支持600N/m ²	片支持900N/m ²
4	4

▼ 900タイプ ▼ ※図の照明配置は参考です。



4-2 部材の加工

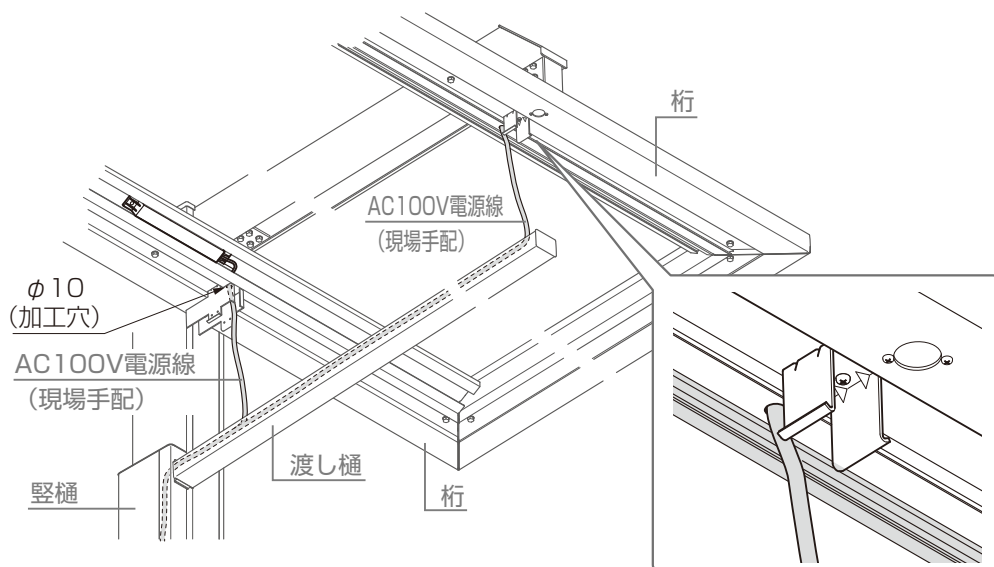
4-2-1 直接照明

お願い

- 連結部は縦樋を取付ける側に穴加工してください。

補足

- 記載寸法は、穴あけ位置の目安のための参考寸法です。照明の連棟数などに合わせて適宜穴あけを行なってください。
- AC100V電源線は現場手配してください。

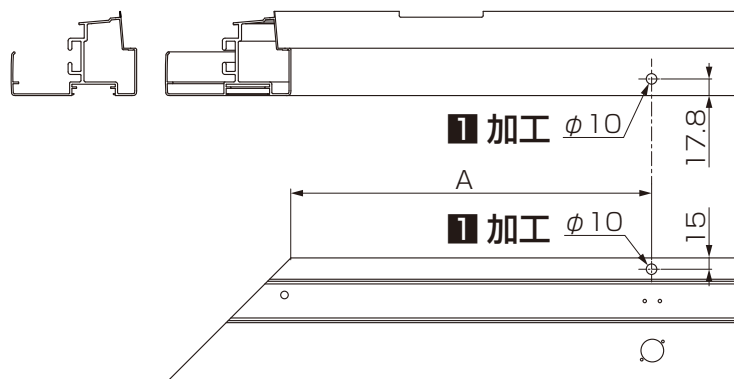


4 直接照明の取付け

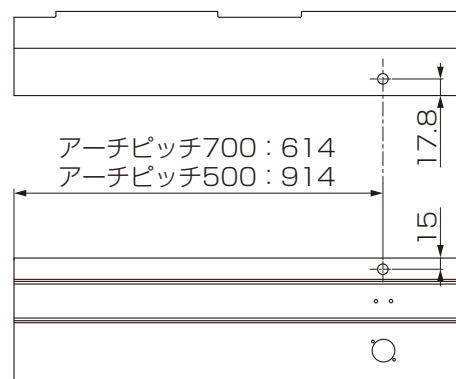
4-2 部材の加工

4-2-2 桁の加工（配線通し穴） ※配線を通す位置にのみ加工

1: 桁に穴加工



▲ 単体または連棟端部 ▲



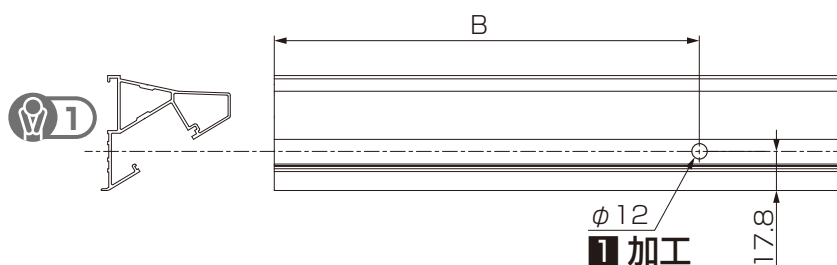
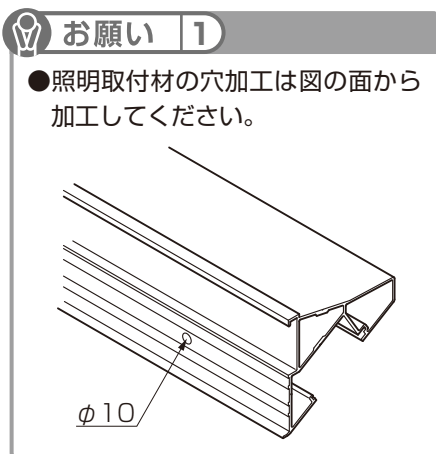
▲ 連結部 ▲

●A寸法表(参考)

左端部		右端部	
アーチピッチ700	882	アーチピッチ700	1054
アーチピッチ500	582	アーチピッチ500	754

4-2-3 照明取付材（配線通し穴）

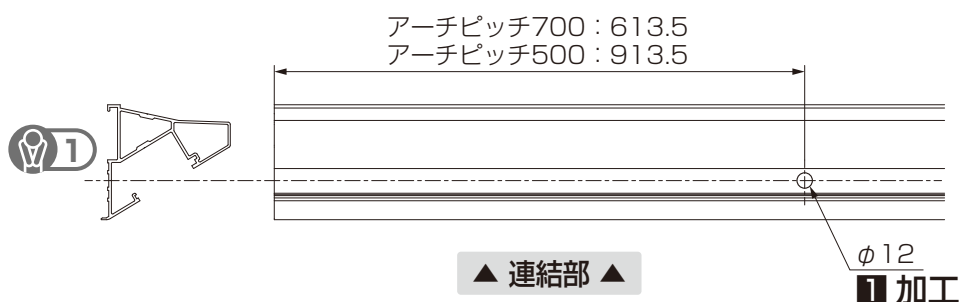
1: 照明取付材に穴加工



▲ 単体または連棟端部 ▲

●B寸法表(参考)

左端部		右端部	
アーチピッチ700	882	アーチピッチ700	1054
アーチピッチ500	582	アーチピッチ500	754



▲ 連結部 ▲

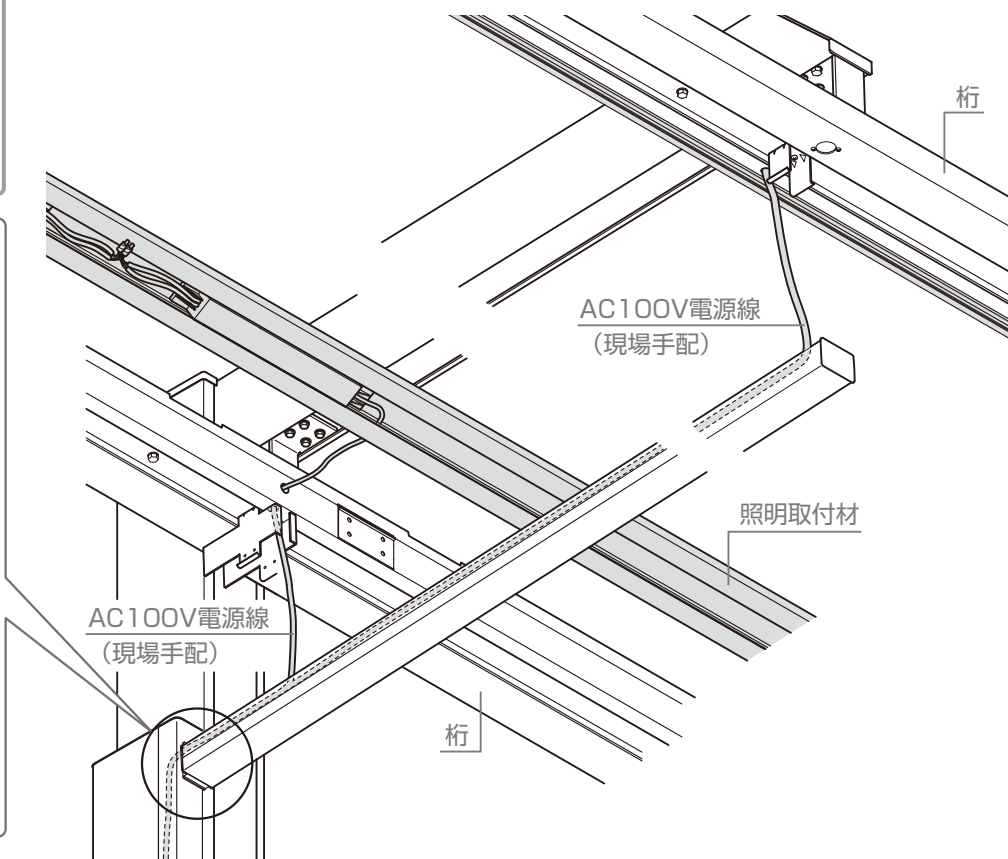
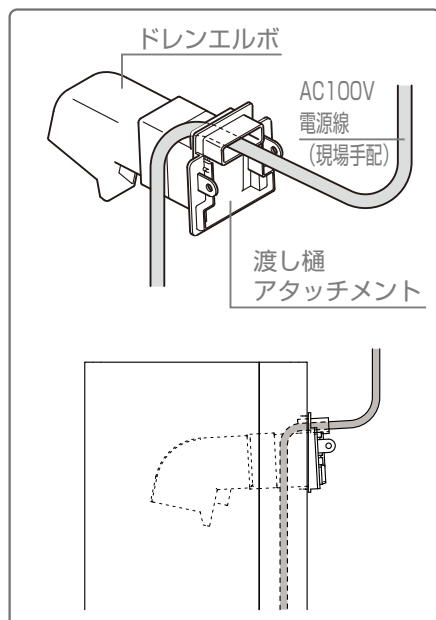
4 直接照明の取付け

【11a】	φ4×12サラタッピンネジ3種
【12a】	φ4×13ナベドリルネジ

4-3 電源の取り回し

補 足

- 本図を参照して照明のAC100V電源線を取り回してください。
- 縦樋・渡し樋は、照明取付材の後に取付けてください。



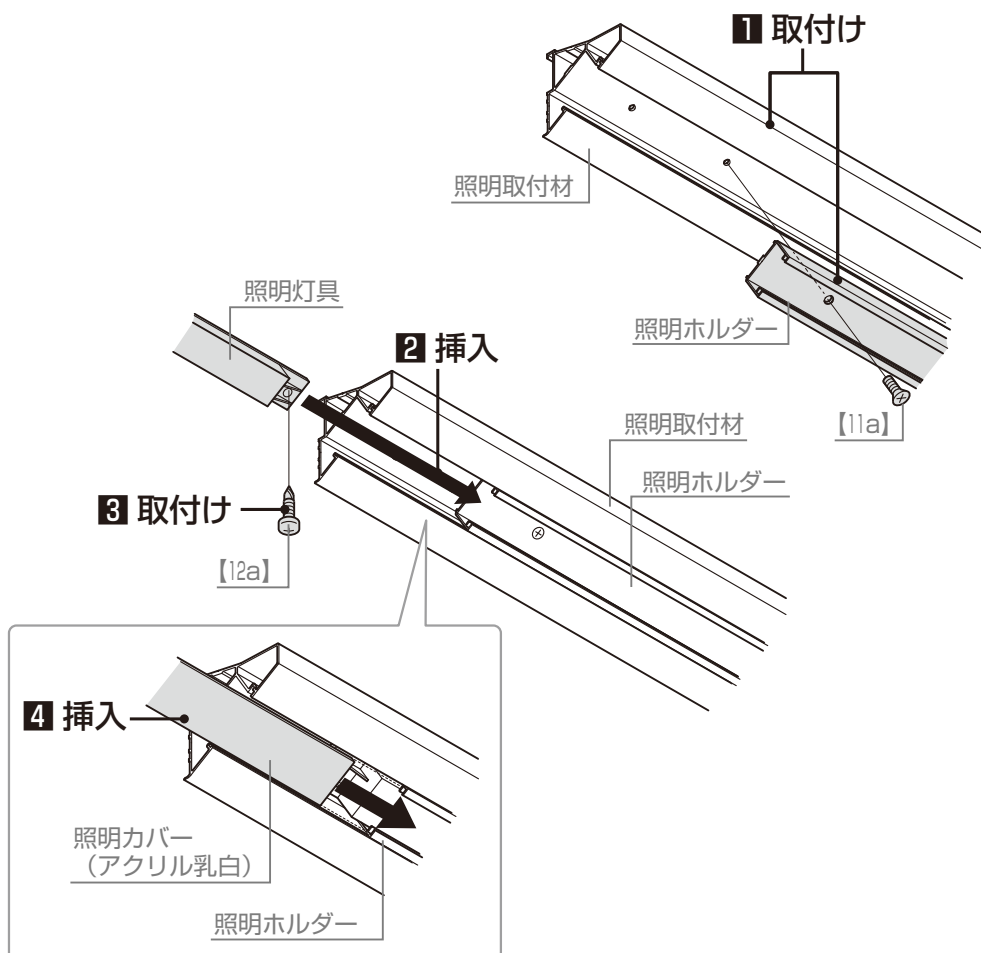
4-4 LED照明

- 1:** 照明ホルダーを照明取付材に【11a】で取付け

- 2:** 照明灯具を照明ホルダーに挿入

- 3:** 照明灯具を照明ホルダーに【12a】で取付け

- 4:** 照明カバーを照明ホルダーに挿入

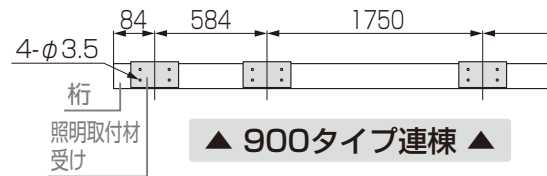
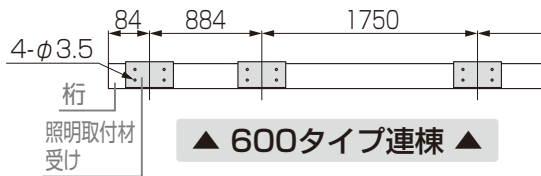
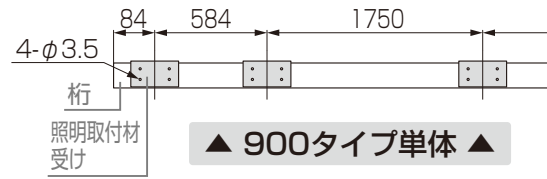
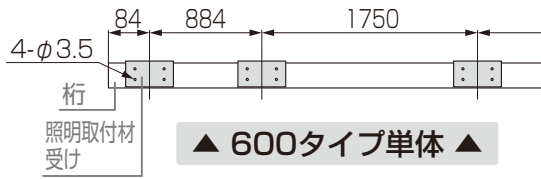


4 直接照明の取付け

4-5 取付け

4-5-1 桁の穴加工

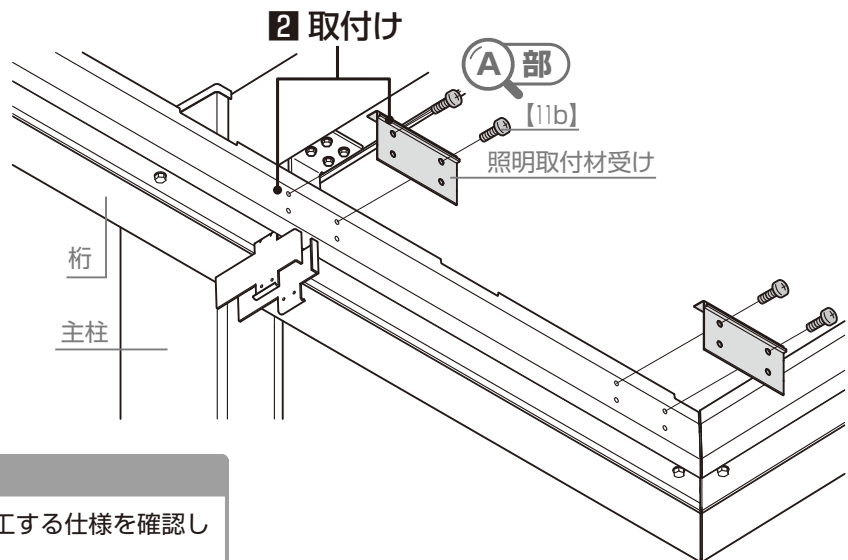
1: 照明取付材受けを使用して、桁にφ3.5の写し穴加工をしてください。



4-5-2 照明取付材受け

1: 照明取付材受けを桁の上に引っかけるようにのせる

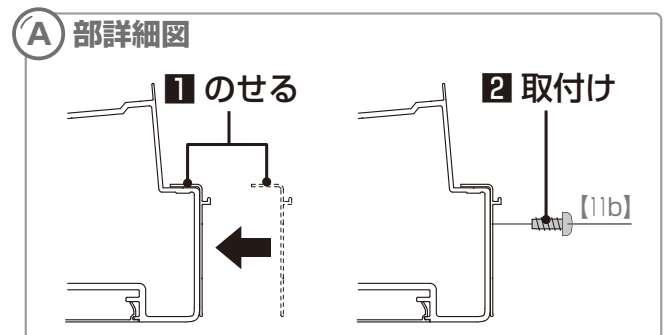
2: 照明取付材受けを桁に【11b】で取付け



お願い

●照明取付材受けには、種類があります。施工する仕様を確認してください。

仕様	600タイプ W20、W25	900タイプ
対応桁		
照明取付材受け		



4 直接照明の取付け

4-5 取付け

つづき

4-5-3 結線

注意

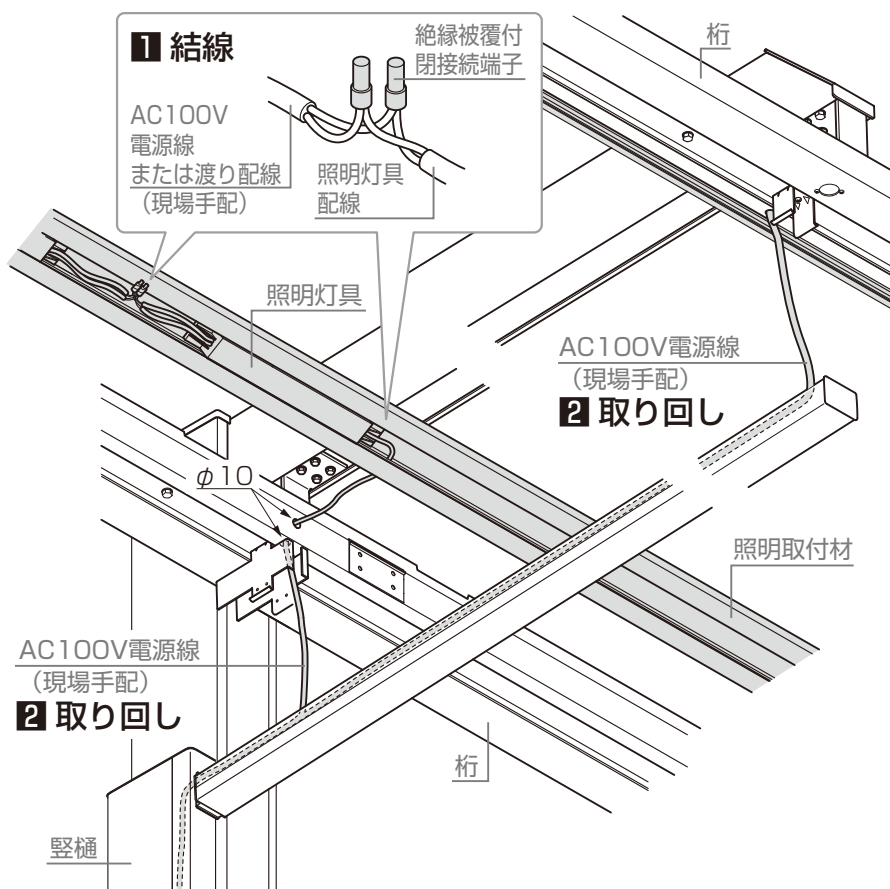
- AC100Vの電線の配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 配線接続部は、絶縁被覆付閉接続端子で確実にしない自己融着テープなどで防水処理を施してください。
- エンド部のコードは絶縁処理と防水処理を施してください。
- 接地端子ネジからD種接地工事を行ってください。

1: AC100V電源線または、渡り配線と照明灯具配線を結線

2: AC100V電源線を桁側の配線通し穴(φ10)を通して縦樋側に取り回し

補足

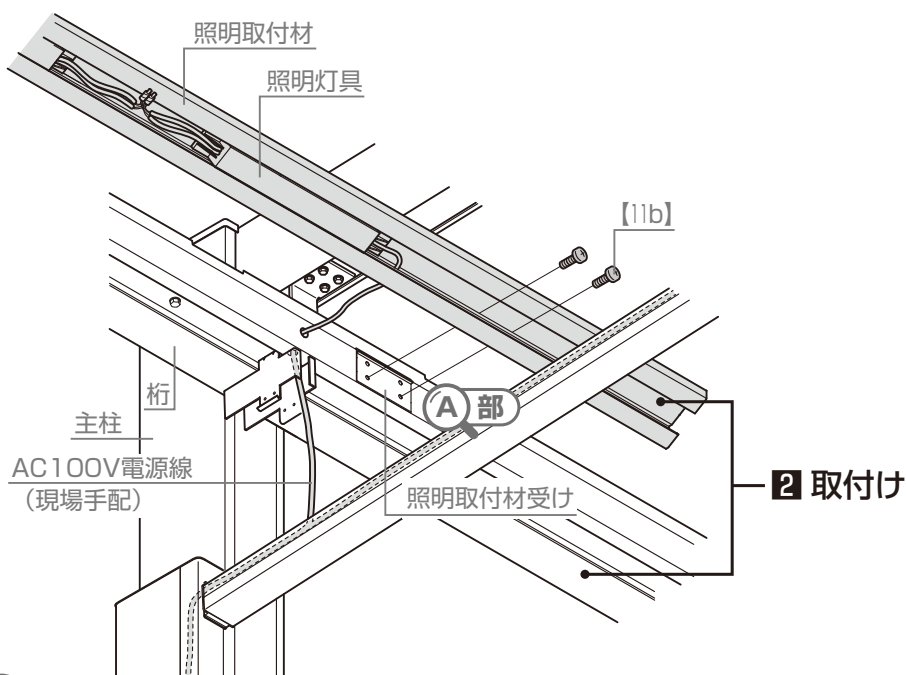
- 縦樋・渡し樋は、照明取付材の後に取付けてください。



4-5-4 照明取付材

1: 照明取付材を照明取付材受けに引っかけるようにのせる

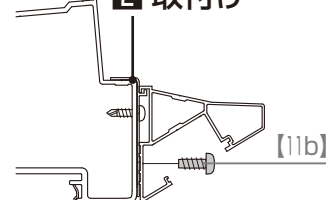
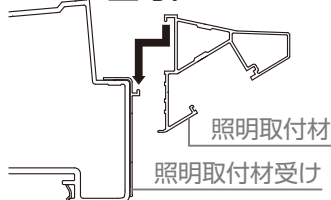
2: 照明取付材を照明取付材受けに【11b】で取付け



A 部詳細図

1 引っかける

2 取付け

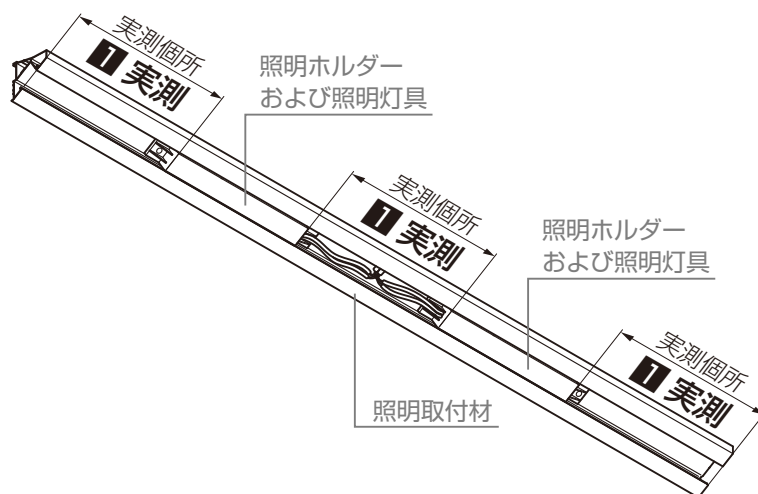


4-5 取付け

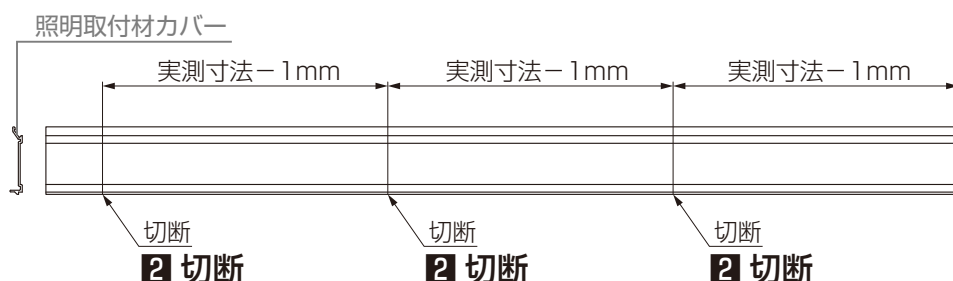
つづき

4-5-5 照明取付材カバー加工

- ❶: 照明ホルダー間の距離、または照明ホルダー端部から照明取付材端部までの距離を実測

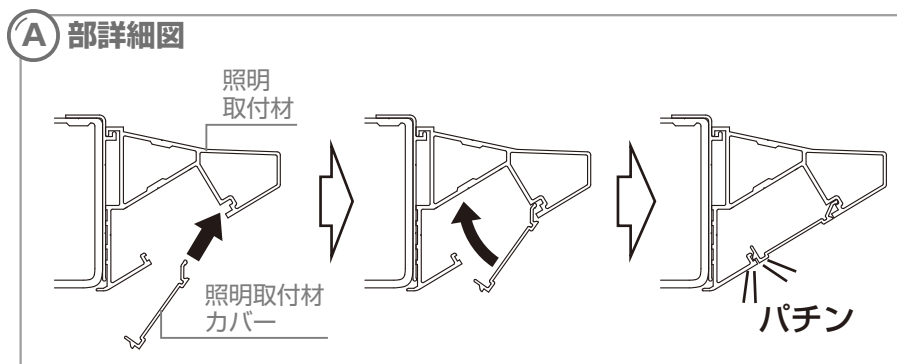
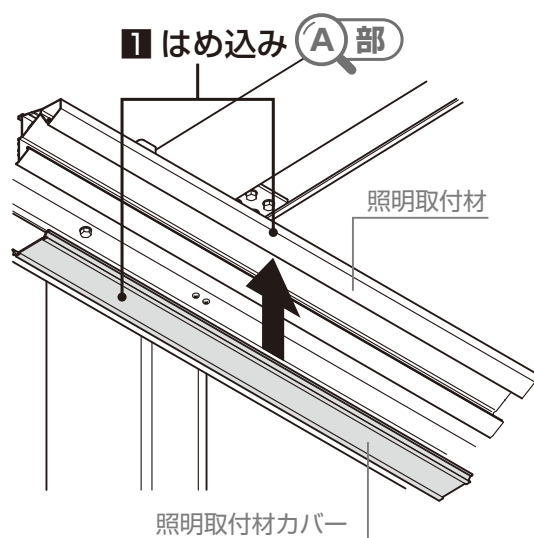


- ❷: 実測寸法－1mmの長さで、照明取付材カバーを切断



4-5-6 照明取付材カバー

- ❶: 照明取付材カバーを照明取付材にはめ込む



5 間接照明の取付け

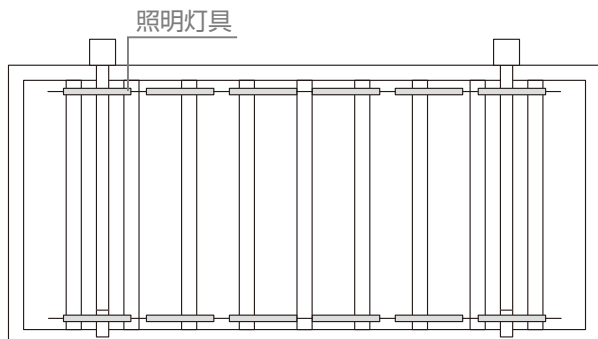
※中間アーチを取付ける前に行なってください。

5-1 照明配置

お願い

- 推奨電源線はVCT0.75mm²(sq)ケーブルです。太い電源線を用いた場合、取り回しが難しくなることがあります。

▼ 600タイプ ▼ ※図の照明配置は参考です。



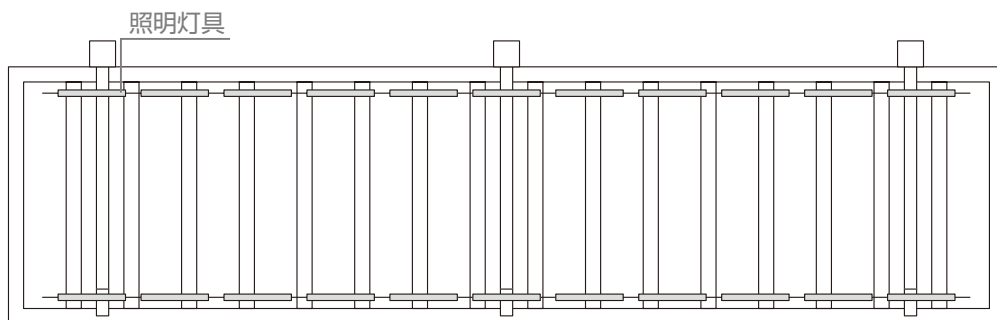
●桁1本に対する最大取付数

	片支持600N/m ²				片支持900N/m ²			
	基本仕様		サイドパネル仕様		基本仕様		サイドパネル仕様	
	単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟
W20	6	5	—	—	6	5	4	4
W25	6	5	—	—	6	5	4	4

●1配線で連結できる最大数

片支持600N/m ²	片支持900N/m ²
6	6

▼ 900タイプ ▼ ※図の照明配置は参考です。



5-2 部材の加工

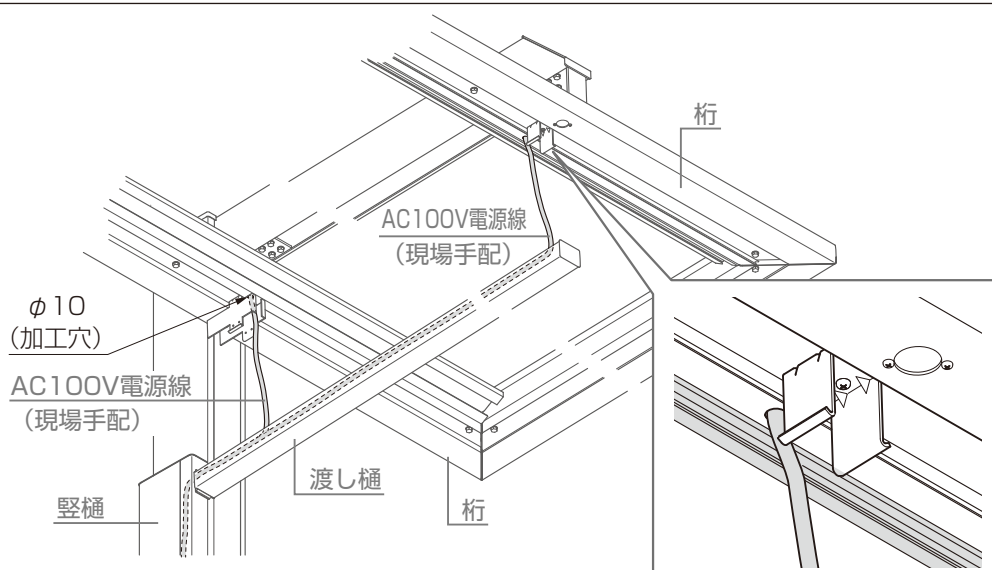
5-2-1 間接照明

お願い

- 連結部は縦樋を取付ける側に穴加工してください。

補足

- 記載寸法は、穴あけ位置の目安のための参考寸法です。照明の連棟数などに合わせて適宜穴あけを行なってください。
- AC100V電源線は現場手配してください。

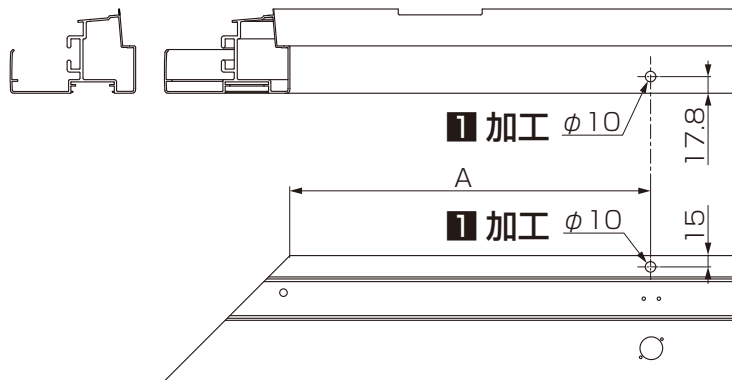


5 間接照明の取付け

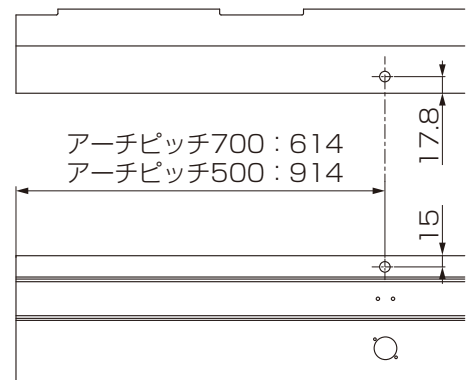
5-2 部材の加工

5-2-2 桁の加工（配線通し穴）※配線を通す位置にのみ加工

1: 桁に穴加工



▲ 単体または連棟端部 ▲



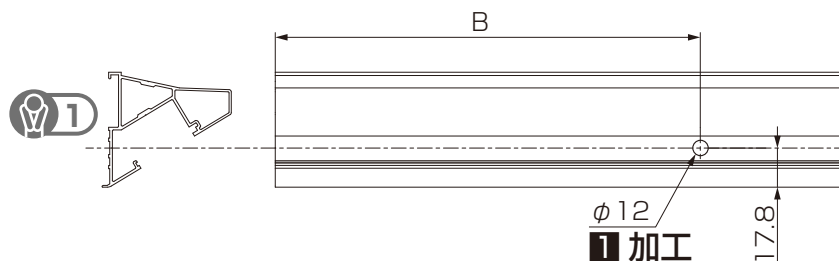
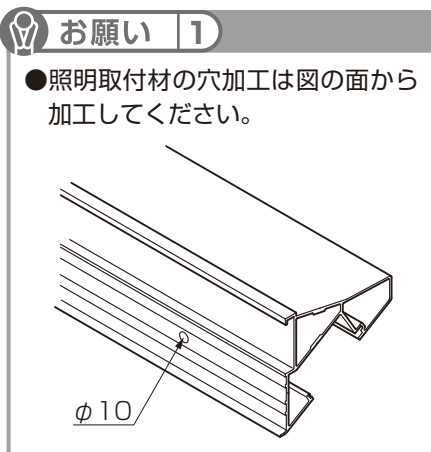
▲ 連結部 ▲

●A寸法表(参考)

	左端部	右端部
アーチピッチ700	882	アーチピッチ700 1054
アーチピッチ500	582	アーチピッチ500 754

5-2-3 照明取付材（配線通し穴）

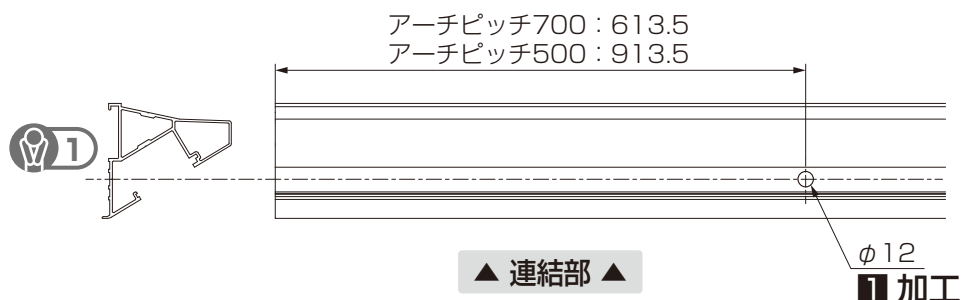
1: 照明取付材に穴加工



▲ 単体または連棟端部 ▲

●B寸法表(参考)

	左端部	右端部
アーチピッチ700	882	アーチピッチ700 1054
アーチピッチ500	582	アーチピッチ500 754



▲ 連結部 ▲

5 間接照明の取付け

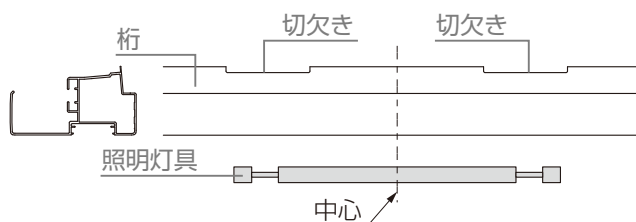
5-2 部材の加工

5-2-4 照明取付材

お願い

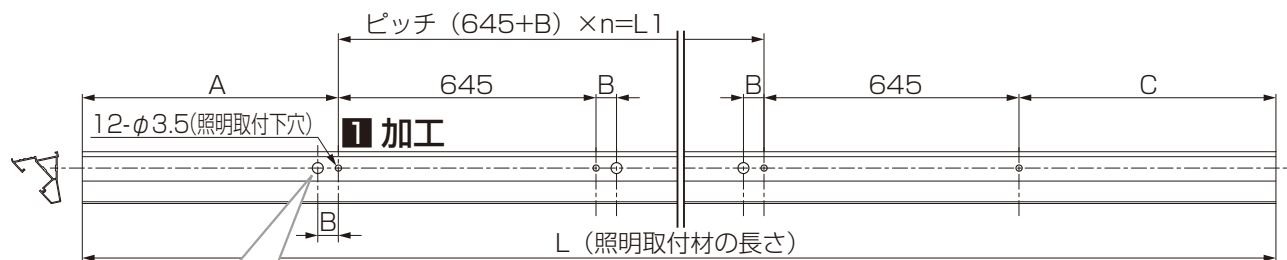
▼ 700ピッチの場合 ▼

- 照明灯具を桁の切欠き中央に配置してください。
桁の切欠き中央に配置しないと、中間アーチが照明灯具と干渉するおそれがあります。

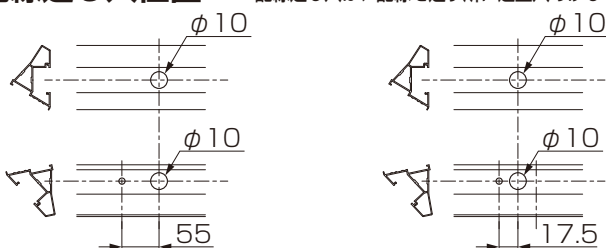


(1) 単体/連棟中間

1: 照明灯具の取付下穴φ3.5の穴加工



●配線通し穴位置 ※配線通し穴は、配線を通す所に適宜穴あけしてください。



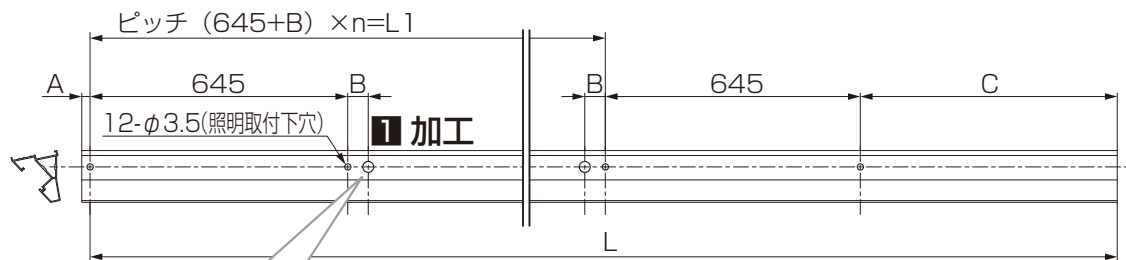
▲ 900単体/連棟用 ▲

▲ 600単体/連棟用 ▲

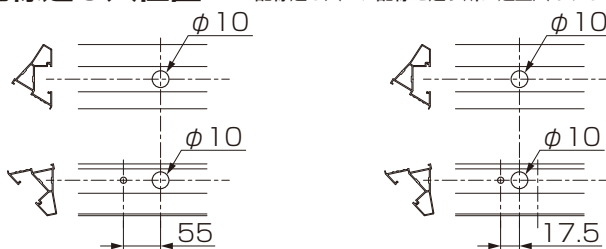
	L	L1	A	B	C	n
600単体用	5436	3500	645	55	646	5
600連棟用	4199	3500	26.5	55	27.5	5
900単体用	4836	3200	495	155	496	4
900連棟用	3999	3200	76.5	155	77.5	4

(2) 連棟端部

1: 照明灯具の取付下穴φ3.5の穴加工



●配線通し穴位置 ※配線通し穴は、配線を通す所に適宜穴あけしてください。



▲ 900単体/連棟用 ▲

▲ 600単体/連棟用 ▲

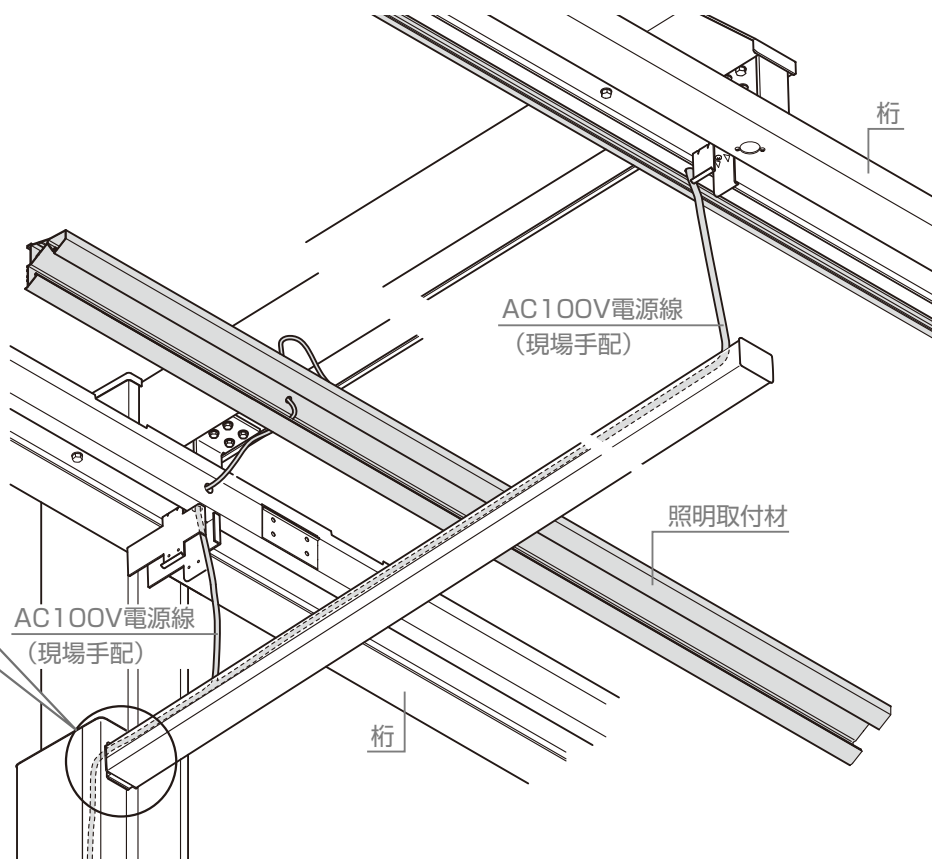
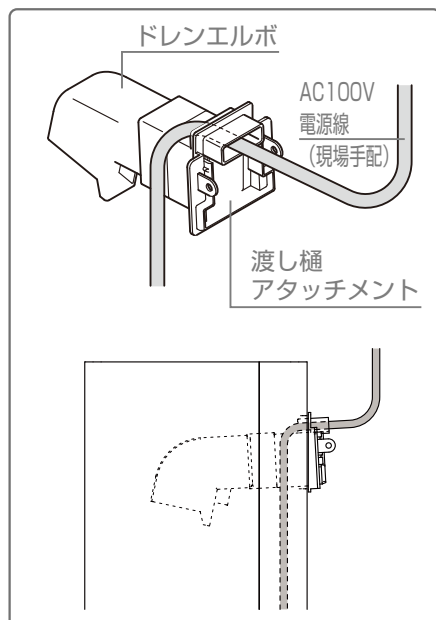
	L	L1	A	B	C	n
600連棟右端部	4817.5	3500	26.5	55	646	5
600連棟左端部	4817.5	3500	27.5	55	646	5
900単体右端部	4917.5	3200	76.5	155	996	4
900連棟左端部	4917.5	3200	77.5	155	996	4

5 間接照明の取付け

5-3 電源の取り回し

補 足

- 本図を参照して照明のAC100V電源線を取り回してください。
- 縦樋・渡し樋は、照明取付材の後に取付けてください。



5-4 LED照明

注意

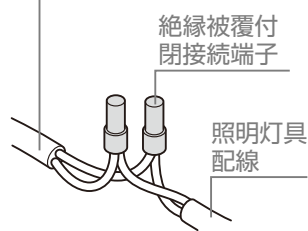
- AC100Vの電線の配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 配線接続部は、絶縁被覆付閉接続端子で確実にしない自己融着テープなどで防水処理を施してください。
- エンド部のコードは絶縁処理と防水処理を施してください。
- 接地端子ネジからD種接地工事を行ってください。

1: 照明灯具を照明取付材に【13a】で取付け

2: AC100V電源線または、渡り配線と照明灯具配線を結線

2 結線

AC100V
電源線
または渡り配線
(現場手配)



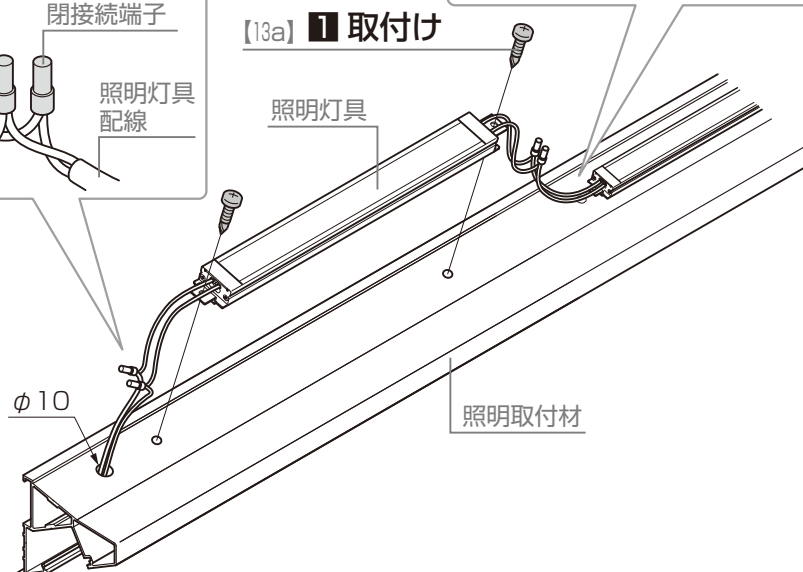
2 結線

照明灯具
配線

絶縁被覆付
閉接続端子

照明灯具
配線

【13a】1 取付け

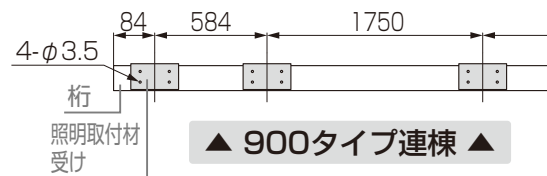
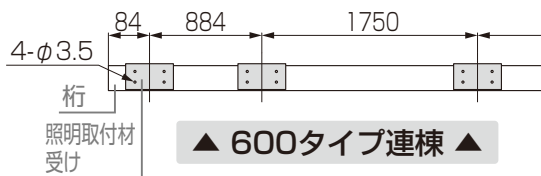
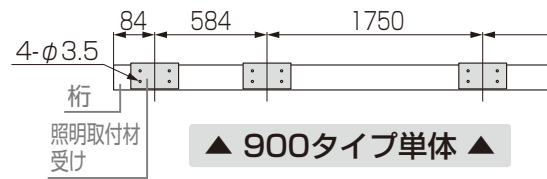
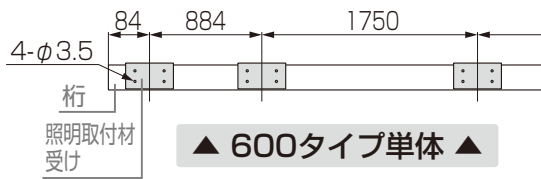


5 間接照明の取付け

5-5 取付け

5-5-1 桁の穴加工

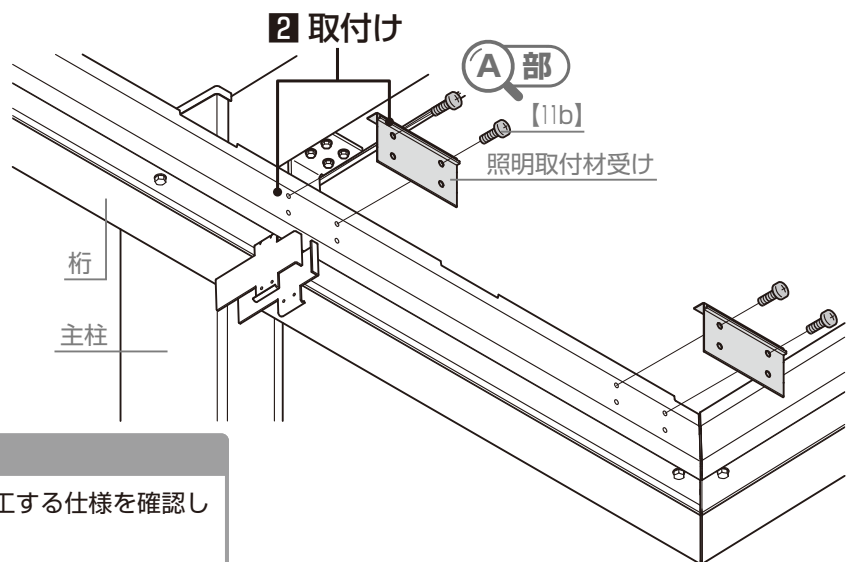
❶: 照明取付材受けを使用して、桁にφ3.5の写し穴加工をしてください。



5-5-2 照明取付材受け

❶: 照明取付材受けを桁の上に引っかけるようにのせる

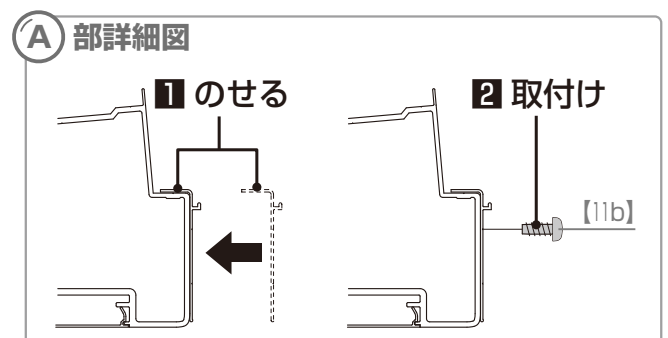
❷: 照明取付材受けを桁に【11b】で取付け



お願い

● 照明取付材受けには、種類があります。施工する仕様を確認してください。

仕様	600タイプ W20、W25	900タイプ
対応桁		
照明取付材受け		



5 間接照明の取付け

5-5 取付け

5-5-3 結線

注意

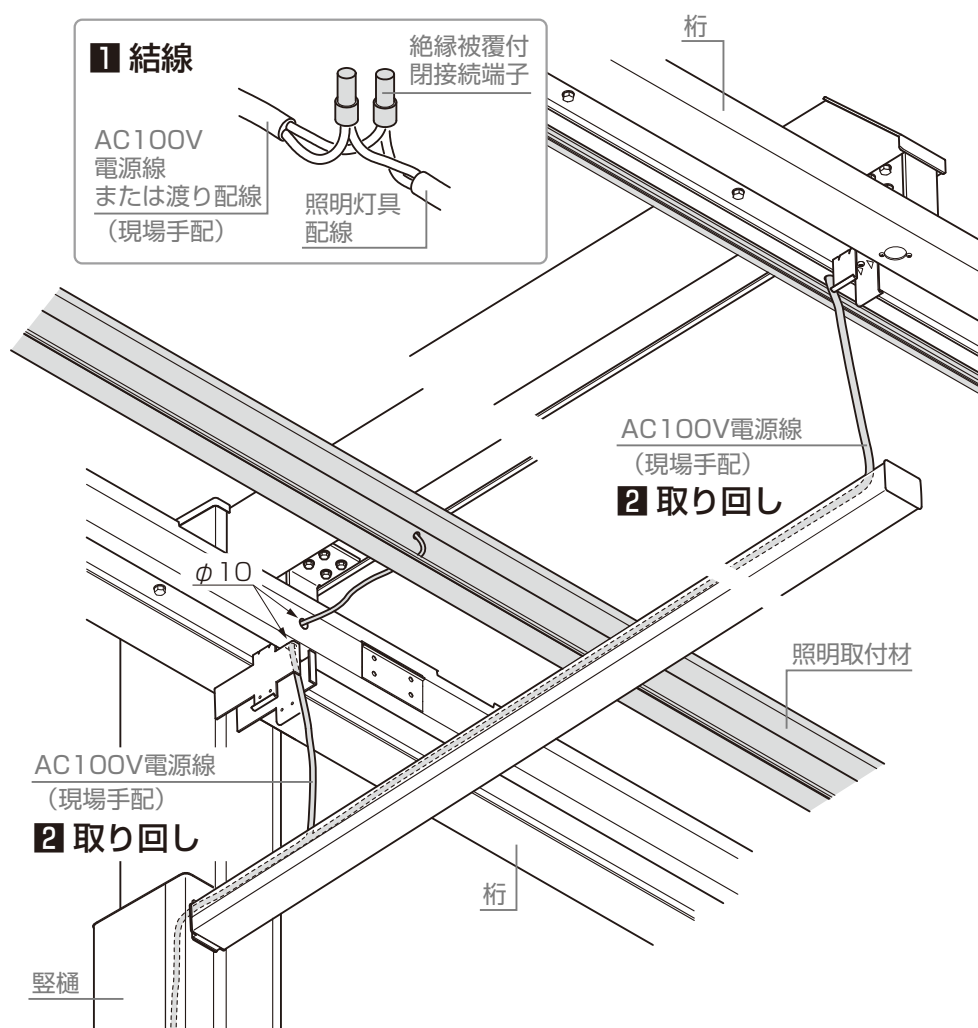
- AC100Vの電線の配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 配線接続部は、絶縁被覆付閉接続端子で確実にしない自己融着テープなどで防水処理を施してください。
- エンド部のコードは絶縁処理と防水処理を施してください。
- 接地端子ネジからD種接地工事を行なってください。

1: AC100V電源線または、渡り配線と照明灯具配線を結線

2: AC100V電源線を桁側の配線通し穴(φ10)を通して縦樋側に取り回し

補足

- 縦樋・渡し樋は、照明取付材の後に取付けてください。



5 間接照明の取付け

5-5 取付け

つづき

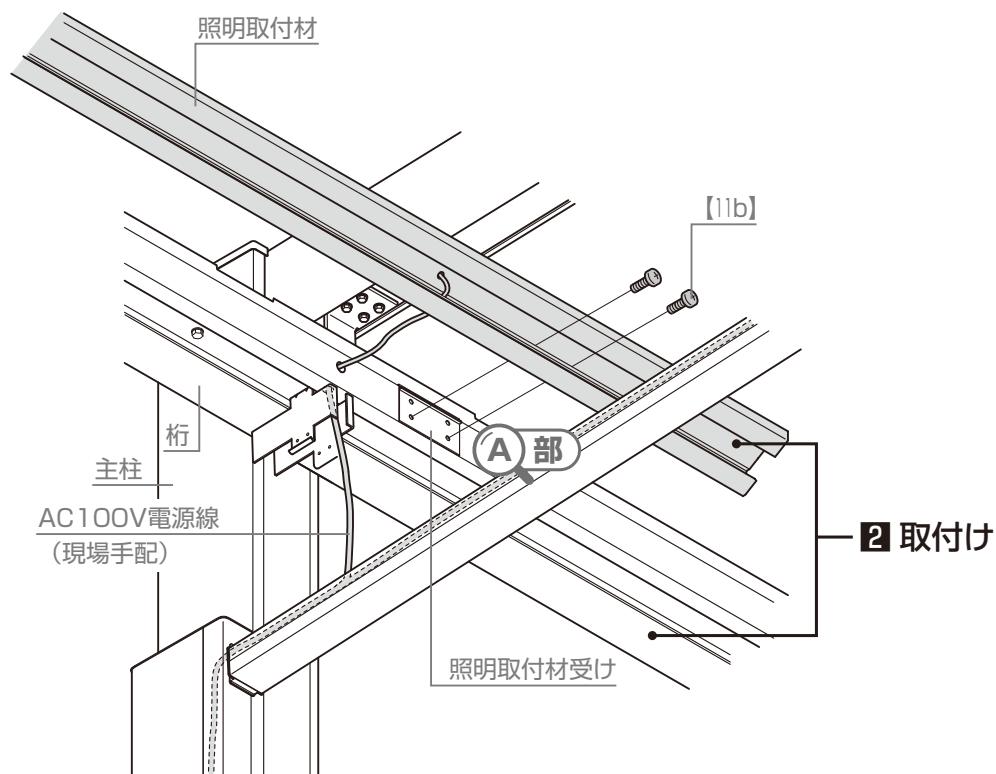
5-5-4 照明取付材

1: 照明取付材を照明取付材受けに引っかけるようにのせる

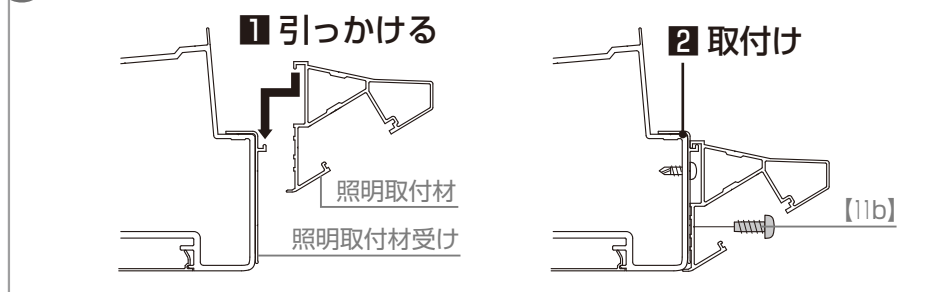
2: 照明取付材を照明取付材受けに【11b】で取付け

補 足

● 縦樋・渡し樋は、照明取付材の後に取付けてください。

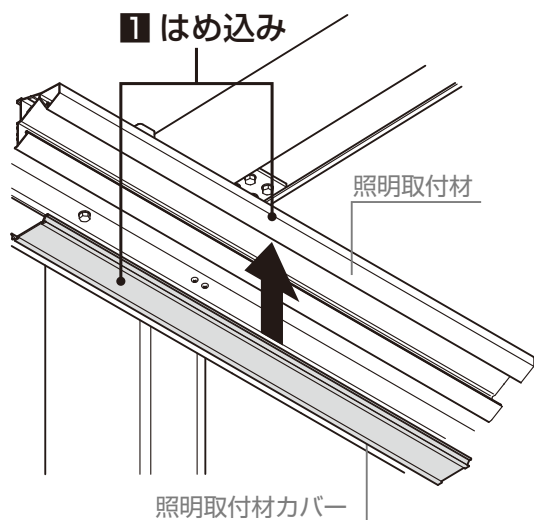


A 部詳細図

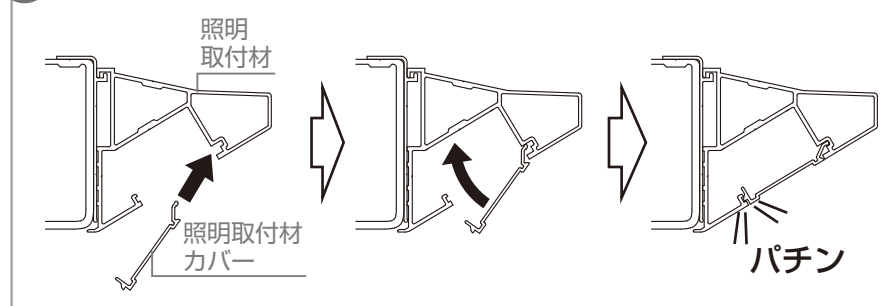


5-5-5 照明取付材カバー

1: 照明取付材カバーを照明取付材にはめ込む



A 部詳細図

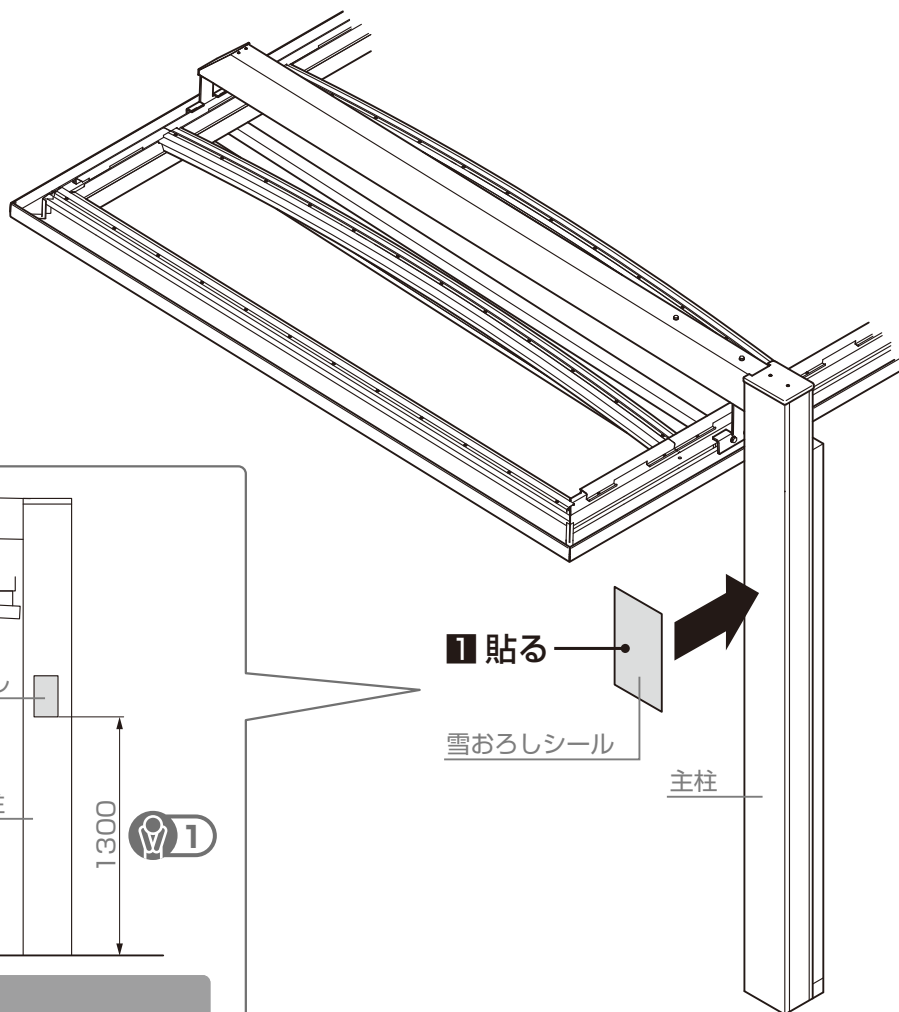
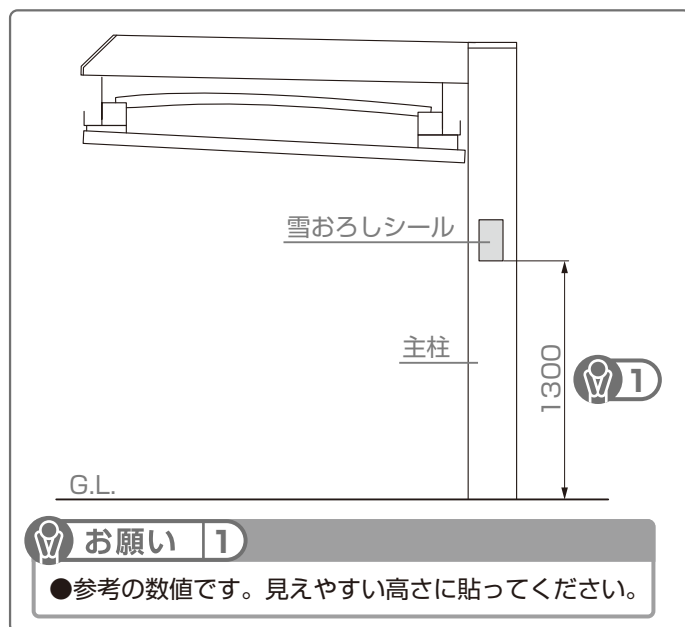


6 注意シール

1:雪おろしシールを主柱の縦樋の付いていない面に貼る

お願い

- 必ず雪おろしシールを目立つ位置に貼ってください。
- 雪おろしシールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。



梱包明細表

【1】片支持柱セット					
名 称	略 図	員 数			
		600N用		900N用	
		H25	H30	H25	H30
主柱		1	1	1	1
主柱カバー 外側		1	1	1	1
主柱カバー 内側		1	1	1	1
縦樋		1	1	1	1

【1】片支持柱セットつづき					
名 称	略 図	員 数			
		600N用		900N用	
		H25	H30	H25	H30
縦樋カバー		1	1	1	1
配線カバー		1	1	1	1
【1a】φ4×30ナベ タッピンネジ3種		3	3	3	3
【1b】φ4×10ナベ タッピンネジ3種		8	11	8	11

梱包明細表

【2】片支持部品セット

名 称	略 図	員 数			
		基本		連棟	
		600N	900N	600N	900N
アンカー棒		2	2	1	1
コーナーキャップ		4	4	—	—
桁前枠連結金具		4	4	—	—
主柱キャップ		2	2	1	1
吊金具		4	4	2	2
吊金具裏板		4	4	2	2
梁端部金具		2	2	1	1
梁端部キャップ		2	2	1	1
桁前枠連結補助金具		4	—	—	—
パネル緩衝材		1	1	—	—
PLラベル (雪降しシール)		1	1	—	—

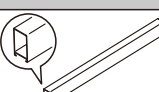
【3】ブラケットセット

名 称	略 図	員 数	
		600N	900N
柱梁ブラケット		1	1

【2】片支持部品セットつづき

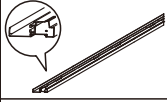
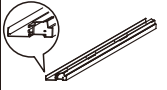
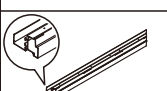
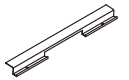
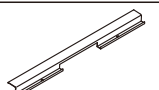
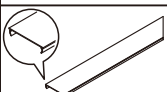
名 称	略 図	員 数			
		基本		連棟	
		600N	900N	600N	900N
シーリング剤		1	1	1	1
【2a】φ4×16ナベ タッピンネジ3種		—	—	4	4
【2b】φ5×13ナベ ドリルネジ		65	83	44	60
【2c】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		118	142	66	92
【2d】φ5×12 ナベタッピンネジ3種		16	8	4	4
【2e】φ4×12 トラスタッピンネジ3種		4	4	2	2
【2f】M8×30六角ボルト (PW・緩み止め付)		30	30	15	15
【2g】M8×20六角ボルト (PW・緩み止め付)		16	16	12	12
【2h】φ5×20 トラスタッピンネジ3種		4	4	2	2
片支持 取付説明書 (E461)	—	1	1	—	—
シェルター 取扱説明書 (UE106)	—	1	1	—	—

【4】片支持梁セット

名 称	略 図	員 数			
		600N用		900N用	
		W20	W25	W20	W25
梁		1	1	1	1

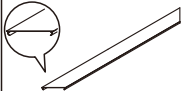
梱包明細表

【5】 桁セット

名 称	略 図	員 数															
		右端部				左端部				単 独				連 棟			
		後 用		前 用		後 用		前 用		後 用		前 用		後 用		前 用	
		600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N
雨樋スリーブ		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
桁単体		—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—
桁右端部		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桁左端部		—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
桁 連棟 中間		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
屋根材押え 端部用		1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	—	—	—	—
屋根材押え 中間用		7	10	7	10	4	5	4	5	6	8	6	8	5	7	5	7
桁カバー 単体		—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—
桁カバー 右端部		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桁カバー 左端部		—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
桁カバー 中間		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
桁スリーブ		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1

梱包明細表

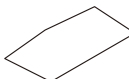
【6】片支持前枠セット

名 称	略 図	員 数			
		600N用		900N用	
		W20	W25	W20	W25
端部アーチカバー		2	2	2	2
前枠		2	2	2	2
桁カバー		2	2	2	2

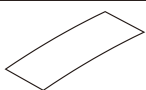
【7】中間アーチセット

名 称	略 図	員 数							
		1本入り				2本入り			
		600N		900N		600N用		900N用	
		W20	W25	W20	W25	W20	W25	W20	W25
中間アーチ		1	1	1	1	2	2	2	2
中間アーチカバー		1	1	1	1	2	2	2	2

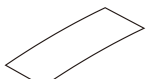
【8】端部屋根材セット

名 称	略 図	員 数							
		700ピッチ用				500ピッチ用			
		2枚入り							
		ポリカーボネート板		アルミ樹脂複合板		ポリカーボネート板		アルミ樹脂複合板	
		W20	W25	W20	W25	W20	W25	W20	W25
屋根材 端部		2	2	2	2	2	2	2	2

【9】中間屋根材セット

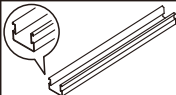
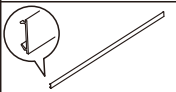
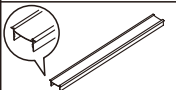
名 称	略 図	員 数							
		700ピッチ用				500ピッチ用			
		2枚入り							
		ポリカーボネート板		アルミ樹脂複合板		ポリカーボネート板		アルミ樹脂複合板	
		W20	W25	W20	W25	W20	W25	W20	W25
屋根材 中間		2	2	2	2	2	2	2	2

【9】中間屋根材セットつづき

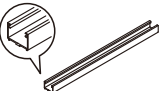
名 称		略 図	員 数							
			700ピッチ用				500ピッチ用			
			1枚入り							
			ポリカーボネート板		アルミ樹脂複合板		ポリカーボネート板		アルミ樹脂複合板	
			W20	W25	W20	W25	W20	W25	W20	W25
屋根材 中間		1	1	1	1	1	1	1	1	

梱包明細表

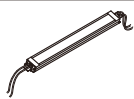
【10】横樋セット

名 称	略 図	員 数	
		W20	W25
渡し樋		1	1
渡し樋カバー		2	2
渡し樋フタ		1	1
渡し樋キャップ		1	1
【10a】φ4×12ナベタッピンネジ3種		8	8

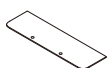
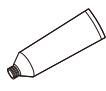
【11】片支持照明取付材セット

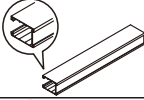
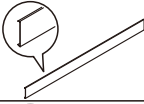
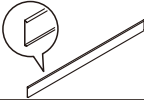
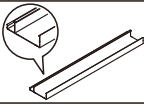
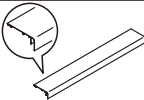
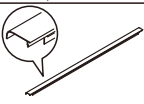
名 称	略 図	員 数							
		右端部		左端部		連棟用		単独用	
		600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N
照明ホルダー		4	4	4	4	4	4	4	4
照明取付材 端部用 右		1	1	1	1	—	—	—	—
照明取付材 端部用 左		1	1	1	1	—	—	—	—
照明取付材 中間用		—	—	—	—	2	2	—	—
照明取付材 単体用		—	—	—	—	—	—	2	2
照明取付材カバー 端部用		2	2	2	2	—	—	—	—
照明取付材カバー 中間用		—	—	—	—	2	2	—	—
照明取付材カバー 単体用		—	—	—	—	—	—	2	2
照明カバー		4	4	4	4	4	4	4	4
照明取付材受け600		8	—	6	—	4	—	10	—
照明取付材受け900		—	8	—	6	—	4	10	10
【11a】φ4×12サラタッピンネジ3種		8	8	8	8	8	8	8	8
【11b】φ4×10ナベタッピンネジ3種		34	34	26	26	16	16	44	44

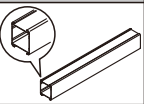
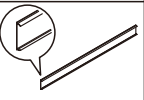
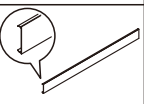
梱包明細表

【12】 直接照明セット		
名 称	略 図	員 数
直接照明用灯具		1
【12a】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		2

【13】 間接照明セット		
名 称	略 図	員 数
間接照明用灯具		1
【13a】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		2

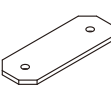
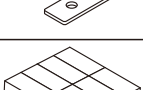
【14】 片支持樋部品		
名 称	略 図	員 数
エルボ		1
雨樋アタッチメント		2
雨樋パイプ		1
雨樋受け		1
樋カバー部品		1
渡し樋アタッチメント		1
渡し樋吊金具 (小)		1
渡し樋吊金具 (大)		1
プッシュボタン $\phi 10$		3
接着剤		1
【14a】 $\phi 4 \times 10$ ナベタッピンネジ3種		6
【14b】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種		8
【14c】 $\phi 5 \times 12$ ナベタッピンネジ3種		4

【15】 サイドパネル兼用柱セット					
名 称	略 図	員 数			
		600N用		900N用	
		H25	H30	H25	H30
主柱		1	1	1	1
主柱カバー 外側		1	1	1	1
主柱カバー 内側		1	1	1	1
樋		1	1	1	1
樋カバー		1	1	1	1
配線カバー		1	1	1	1
【15a】 $\phi 4 \times 30$ ナベタッピンネジ3種		3	3	3	3
【15b】 $\phi 4 \times 10$ ナベタッピンネジ3種		8	11	8	11

【16】 サイドパネル用柱セット					
名 称	略 図	員 数			
		600N		900N	
		H25	H30	H25	H30
サイドパネル柱		1	1	1	1
主柱カバー 外側		1	1	1	1
主柱カバー 内側		1	1	1	1

梱包明細表

【17】 サイドパネル部品セット

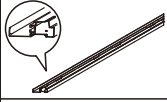
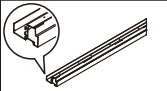
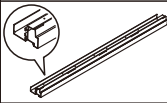
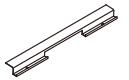
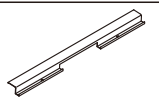
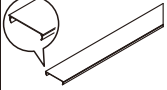
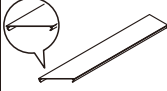
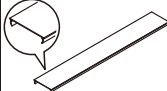
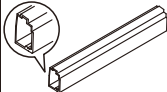
名 称	略 図	員 数			
		基本		連棟	
		600N	900N	600N	900N
アンカー棒		3	3	2	2
コーナーキャップ		4	4	—	—
サイドパネル柱キャップ		1	1	1	1
桁前枠連結金具		4	4	—	—
主柱キャップ		2	2	1	1
吊金具		6	6	4	4
吊金具裏板		6	6	4	4
梁端部金具		3	3	2	2
梁端部キャップ		3	3	2	2
桁前枠連結補助金具		4	—	—	—
パネル緩衝材		1	1	—	—
PLラベル (雪降しシール)		1	1	—	—
シーリング剤		1	1	1	1

【17】 サイドパネル部品セットつづき

名 称	略 図	員 数			
		基本		連棟	
		600N	900N	600N	900N
【17a】 M8×20六角ボルト (PW・緩み止め付)		20	20	16	16
【17b】 φ5×12トラス タッピンネジ3種		154	154	105	105
【17c】 φ5×13ナベ ドリルネジ		92	92	70	70
【17d】 φ5×12ナベ タッピンネジ3種		20	12	8	8
【17e】 φ4×16ナベ タッピンネジ3種		—	—	4	4
【17f】 φ4×12トラス タッピンネジ3種		6	6	4	4
【17g】 φ5×20ナベ タッピンネジ3種		6	6	4	4
【17h】 M8×30六角ボルト (PW・緩み止め付)		45	45	30	30
片支持 取付説明書 (E461)	—	1	1	—	—
サイドパネル 取付説明書 (E462)	—	1	1	—	—
シェルター 取扱説明書 (UE106)	—	1	1	—	—

梱包明細表

【18】 サイドパネル用桁セット

名 称	略 図	員 数															
		右端部				左端部				単 独				連 棟			
		後用		前用		後用		前用		後用		前用		後用		前用	
		600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N	600N	900N
雨樋スリーブ		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
桁単体		—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—
桁右端部		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桁左端部		—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
桁 連棟 中間		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
屋根材押え 端部用		1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	—	—	—	—
屋根材押え 中間用		11	11	11	11	6	6	6	6	9	9	9	9	8	8	8	8
桁カバー 単体		—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—
桁カバー 右端部		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桁カバー 左端部		—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
桁カバー 中間		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
桁スリーブ		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1

